

「まちづくり」の概要（サマリー）

●テーマは、子育て・教育・健康

※子育て環境の整備（子育てプラン）

※教育の充実

※健康増進の推進（特定検診の向上）

がん検診の60%目標達成へ

●主な基本方針は、人口、経済、観光

※人口動態に注視し、自然増・社会増

※合計特殊出生率向上

その他、経済の活性化と観光開発

人口対策

少子化対策
出生率
不妊治療
育児休業
次世代育成

人口動態
自然増減
社会増減
担い手不足
高齢化対策

経済対策

スタートアップ
担い手不足
・介護・医療
・商品販売
・ドライバー
・建築・土木

エネルギー
DX
GX

テーマ
子育て・教育・健康

観光施策

総合公園
西国街道
レジエント
・織田幹雄
・大下・三村・後原

特産品開発
海田高校家政科
海産物
町内周遊
総合公園



年少人口割合が 高い

町:14.8%
県:12.6%
国:11.9%
(R2 年国勢調査)



出生率が高い (県内 1 位)

出生率＝人口千人当たり出生割合

町:10.3(県内 1 位)
県:6.8(全国 14 位)
国:6.6
(R3年人口動態統計)



海田町人口 30,573 人

(令和 5 年 3 月末住民基本台帳人口)

医療機関が充実 しています

病院:2 施設
一般診療所:29 施設
歯科診療所:19 施設
(R5 年 3 月現在)

高齢化率が低い

町:23.9%
県:29.4%
国:28.6%
(R2 年国勢調査)

高齢化は 進んでいます

4.5 ポイント上昇
〔 H22～R2 の推移
(国勢調査) 〕



人口推移



自衛隊官舎，国家公務員官舎移転の影響による減少

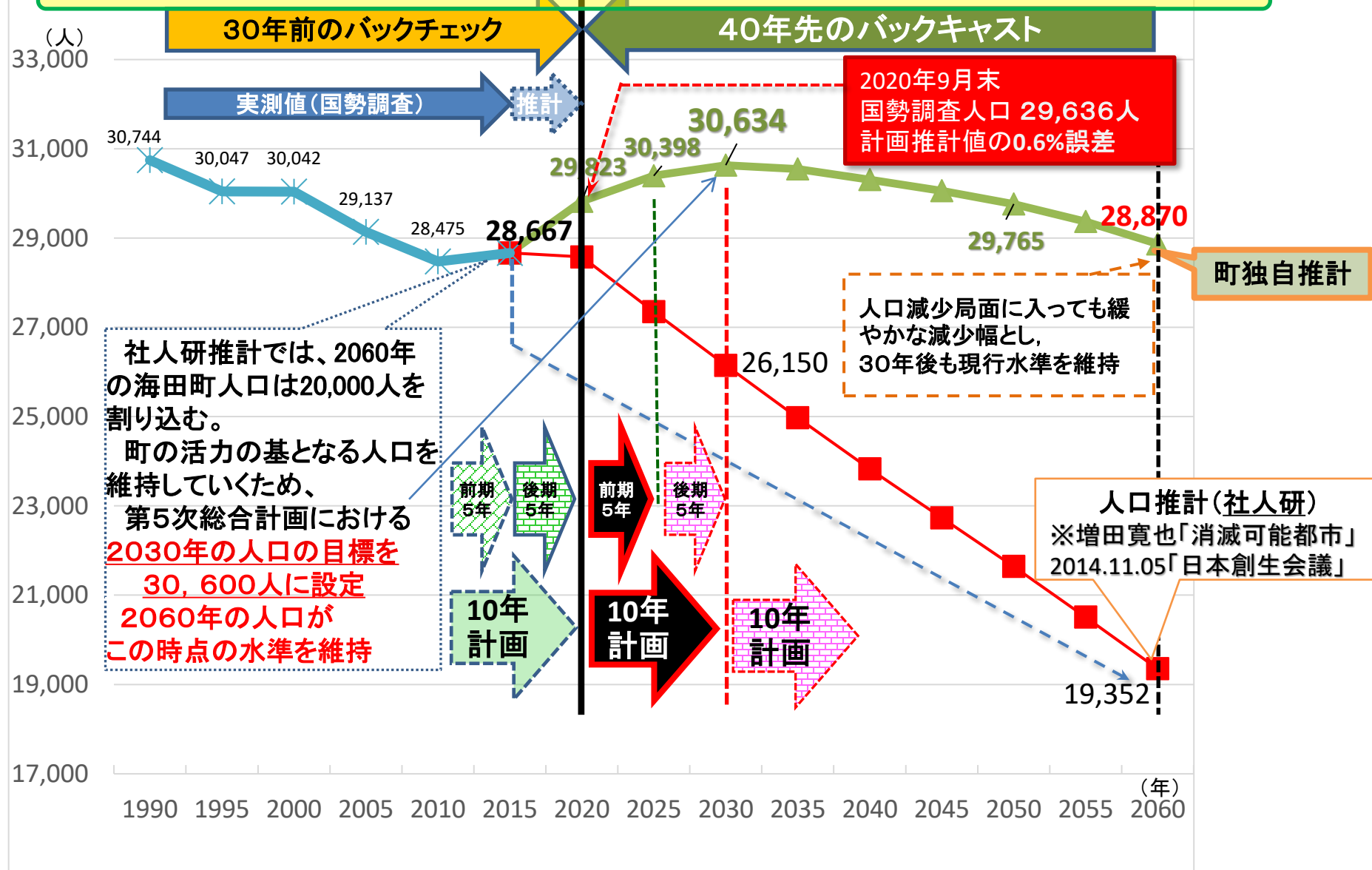
リーマンショック等による景気後退，外国人の減少

景気回復，住宅建設による人口増への転換

区 分	期 間	人口指標	実 績	備 考
第3次	2001～2010	33,000人	28,477人	人口減少時代の到来を見据えた対応
第4次	2011～2020	<u>28,729人</u>	<u>29,636人</u>	少子高齢化・人口減少社会への対応

海田町の第5次総合計画期間における人口推計

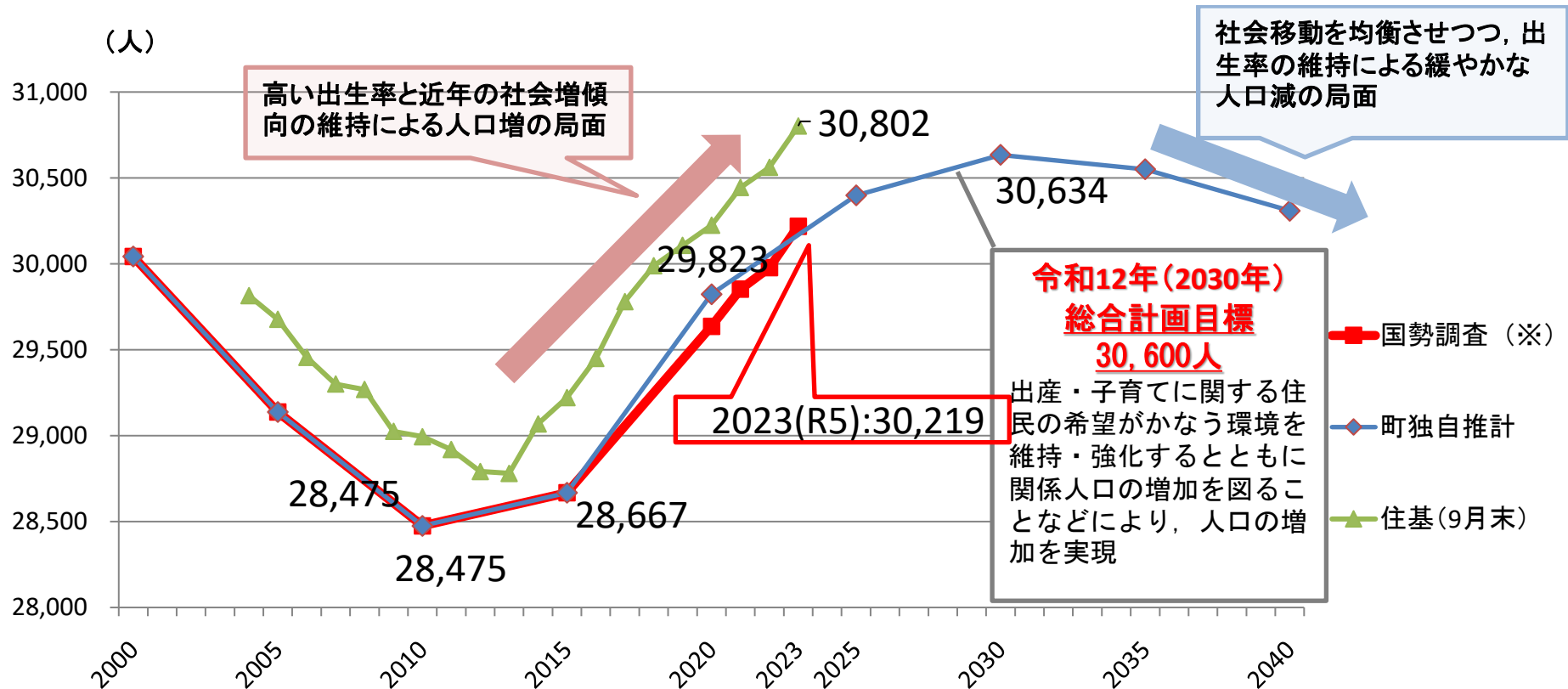
Point (仮説1) 40年後の2060年の人口が2015年の水準を下回らないようにするため、2030年の人口の目標を30,600人に設定



Point (仮説1) 40年後の2060年の人口が2015年の水準を下回らないようにするため、2030年の人口の目標を30,600人に設定

総合計画における町独自推計では、出産・子育てに関する住民の希望がかなう環境を維持・強化するとともに、通勤・通学者などの関係人口の増加を図ること等により、今後10年間にわたる人口の増加の実現及び人口の減少局面に入ってから、緩やかな減少幅になることが見込まれています。

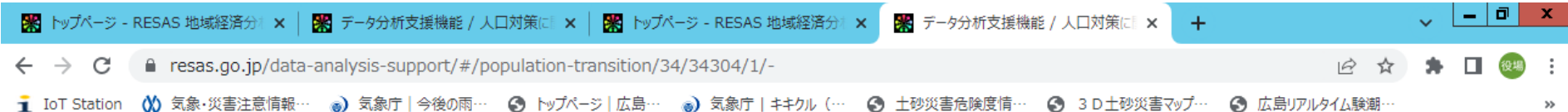
令和3年度時点では、町独自推計と近似の増加傾向で推移しています。



※2021以降の数値は人口移動統計:広島県が実施している統計調査で、直近(R2)の国勢調査による人口を起点とし、推計値を算出

海田町の自然動態と社会動態の状況（RESAS地域経済分析システム）

Point （仮説2）町の人口動態について、90人（自然増）+90人（社会増）の180人を維持することで、人口動態が安定して推移するよう、産み育てる町を目指した施策を進める。



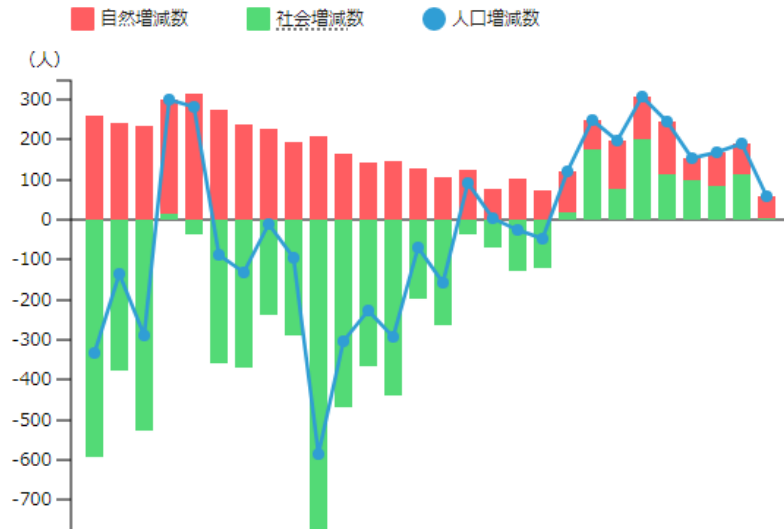
データ分析支援TOP 分析テーマ選択 自然増減・社会増減の推移（折れ線） 戻る 次へ 印刷

人口推移 > 人口ピラミッド > 自然増減・社会増減の推移（折れ線） > 自然増減・社会増減の推移（移動平均） > 人口の自然増減-合計特殊出生率と人口推移 > 人口の社会増減-人口移動 > From-To（定住人口） > 人口推移のまとめ

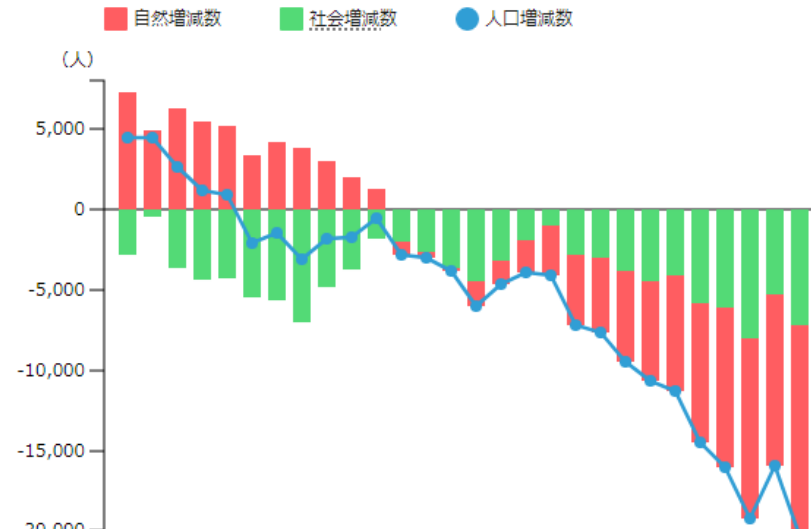
【目的】自然増減と社会増減の推移を確認しよう。

類似自治体検索

広島県海田町



広島県



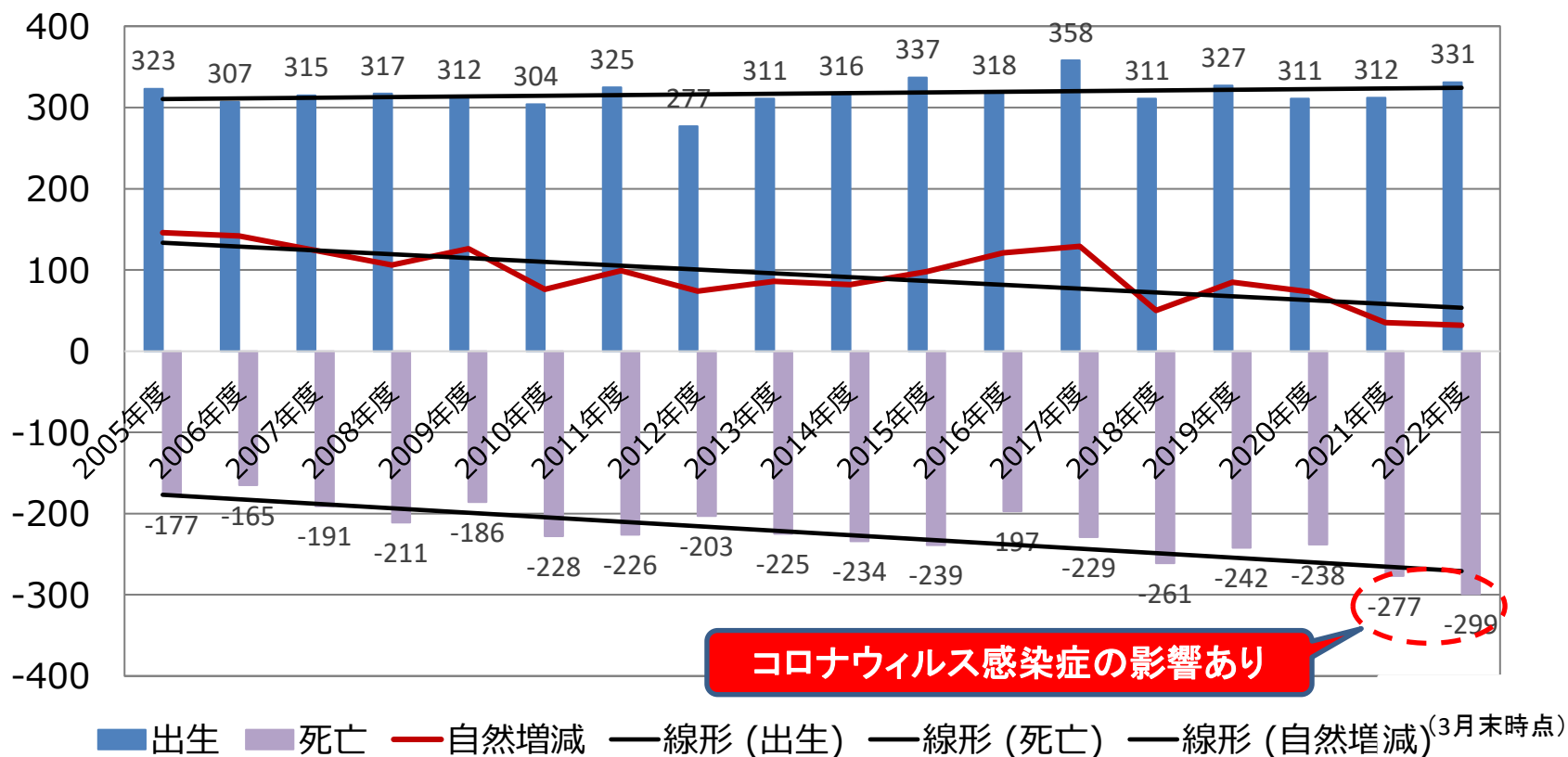
示唆

人口は社会減も自然減も生じていない。

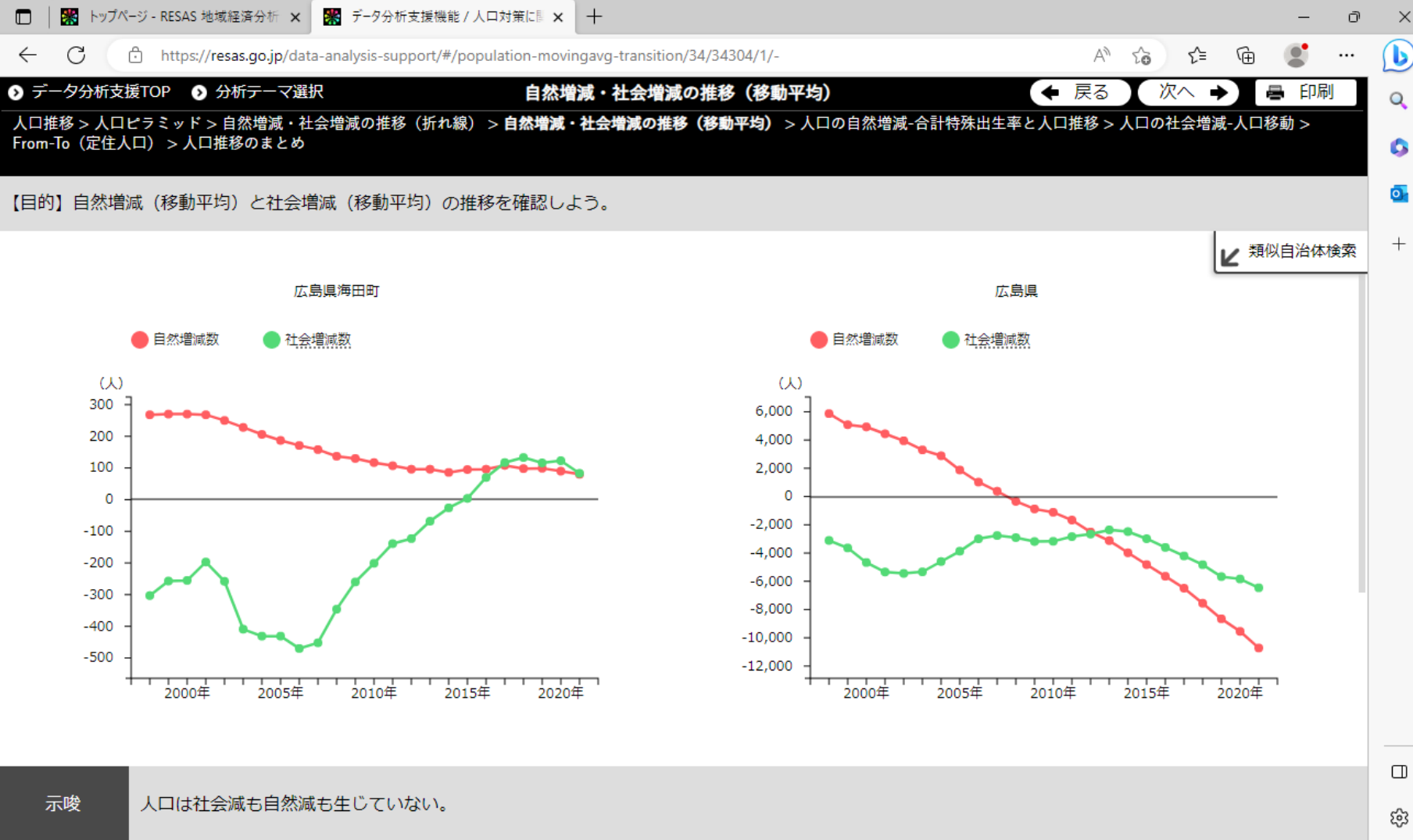
海田町の自然動態(出生・死亡)

Point (仮説2)町の人口動態について、90人(自然増)+90人(社会増)の180人を維持することで、人口動態が安定して推移するよう、産み育てる町を目指した施策を進める。

海田町の人口自然動態(出生(人口増)・死亡(人口減))



Point （仮説2）町の人口動態について、90人（自然増）+90人（社会増）の180人を維持することで、人口動態が安定して推移するよう、産み育てる町を目指した施策を進める。



海田町のまちづくりについて ～サマリー～

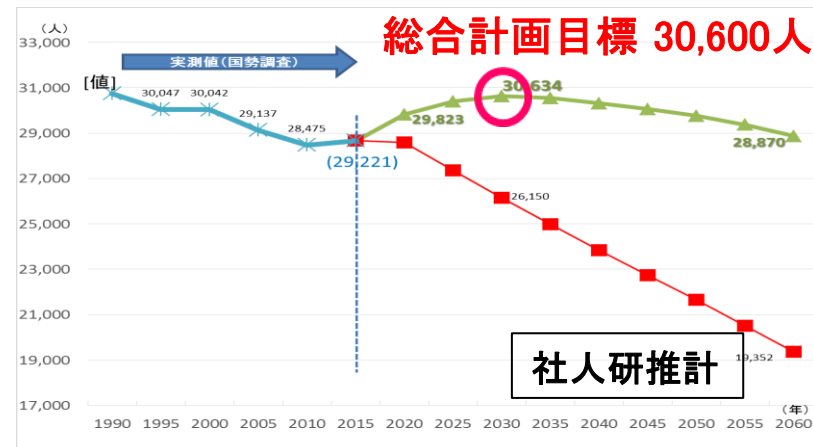
・まちづくりアンケート調査によると、海田町に「ずっと住み続けたい」「当分の間は住み続けたい」と回答した人の合計は、**84.9%** (n=1,026) で、多くの人が住み続けたいと考えている。

- ・子ども・子育て支援に関するニーズ調査によると、**就学前児童や小学生がいる家庭においては、大部分の方は「子育てがしやすいまちだと思う」**(就学前児童:**83.7%**、n=905 小学生:77.4% n=1034)と回答している。
- ・就学前児童いる家庭において、「**子育てがしやすいまちだと思う**」と回答した人の大部分が「**住み続けたい**」(子育てしやすいまちだと思うと回答した人のうち、住み続けたいと回答した人:91.8% n=905)と回答している。

住民の皆様へ、より暮らしやすさを実感していただくため、新たに策定した第5次総合計画では、目指す都市像「**ひと・まち・みらいをつなぐ暮らしやすさが実感できるまち**」の実現を掲げ、特に重要な5つの視点を踏まえ、まちづくりの方向性を設定

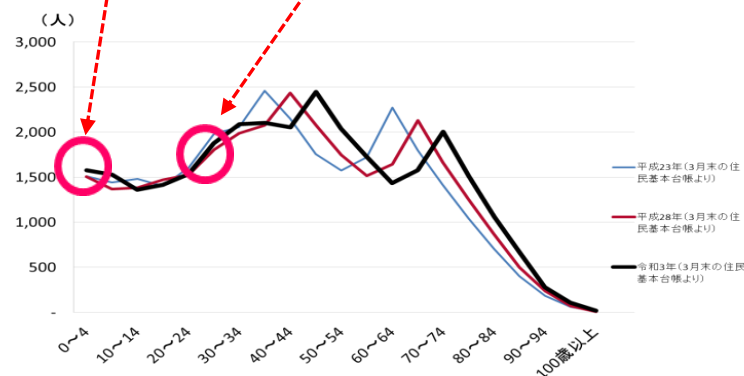
- ①ライフステージに応じた必要な支援
- ②次代を担う人材の育成
- ③災害復旧復興・インフラ強靱化の推進と防災・減災体制の強化
- ④多様な魅力による集客とまちの活性化
- ⑤持続可能な都市基盤の整備

社人研推計では、2060年の海田町人口は20,000人を割り込む。町の活力の基となる人口を維持していくため、第5次総合計画における令和12年の人口の目標を**30,600人**に設定することで、『**2060年人口が2015年を下回らない**』



人口増加のためには、**子育て世代の転入が必要**
特に、子育て環境整備・子育て世代への支援充実することで、(かいた版ネウボラ 等)

出生数の増 ← **子育て世代の転入** による。



※海田町の人口増は、国勢調査の結果にも現れている。

平成27年国勢調査人口:28,667人

→ 令和2年国勢調査人口:29,636人(+969人)

県全体▲1.6%に対して、海田町は県内市町の中で

人口増減率が**最も高い3.4%の増**

②まちの好循環をめざして

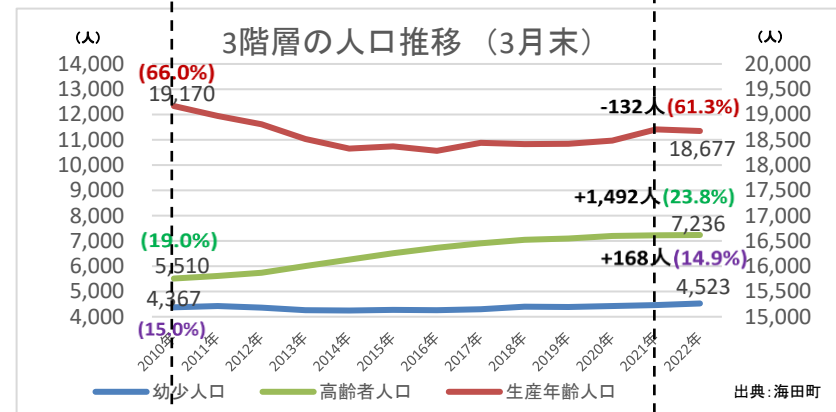
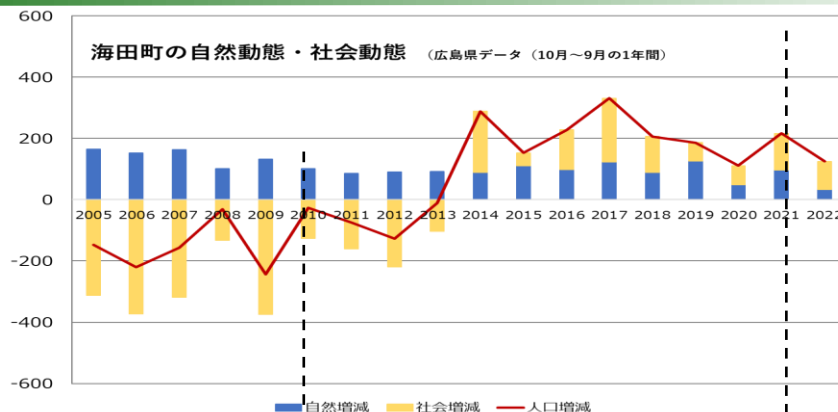


②まちの好循環をめざして

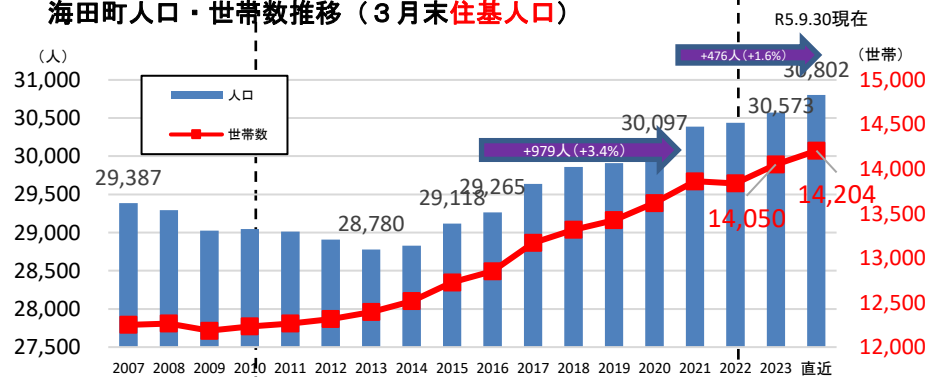


Point

- 平成25（2013）年までは社会減、自然増であったが、
- 平成26（2014）年からは社会増、自然増に転じる。
- 年齢別にみると、20～29歳の子育て世代が県内から転入しているケースが多い
- 年齢3区分別にみると、
 - 0～14歳は14.9%（県内市町で最も高い）
 - 15～64歳は61.3%（県内2位）
 - 65歳以上は23.8%（県内で低い方から2位）



海田町人口・世帯数推移（3月末住基人口）



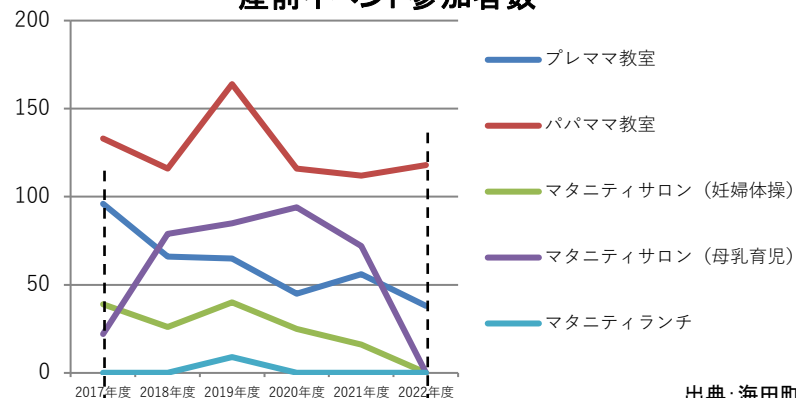
Point

- 2017年から「かいた版ネウボラ」による妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を実施
- 教室を徐々に充実させ、参加者数も増加
- コロナ禍の影響で、いったん落ち込んだもののオンラインを活用したイベントなどで持ち直し

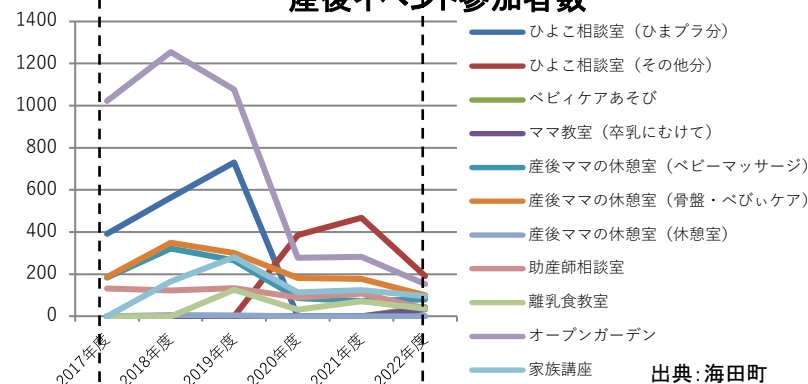


- 就学前児童や小学生がいる家庭においては、大部分の方は「子育てがしやすいまちだと思う」と回答
(就学前児童83.7% $n=905$, 小学生77.4% $n=1034$)
〈子ども・子育て支援に関するニーズ調査〉

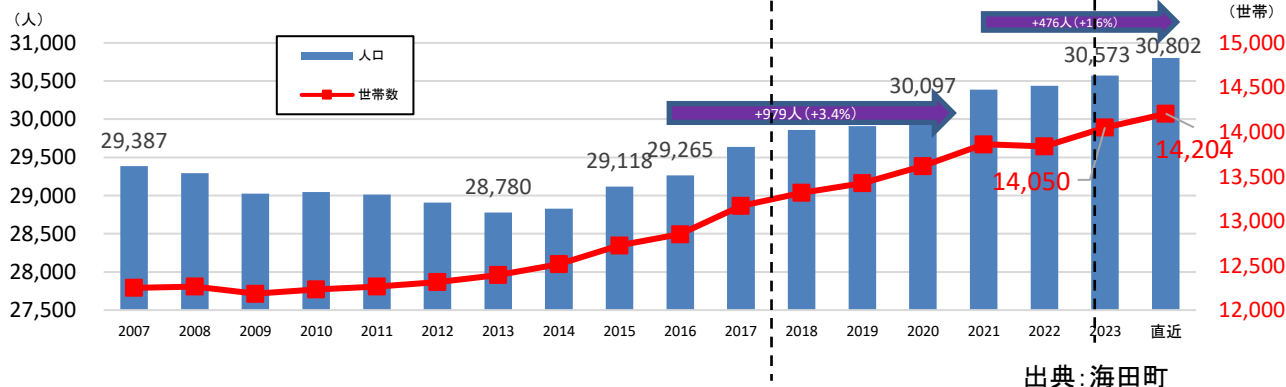
産前イベント参加者数



産後イベント参加者数



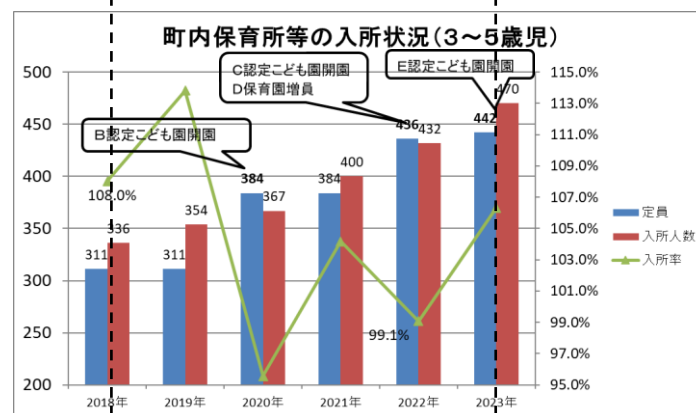
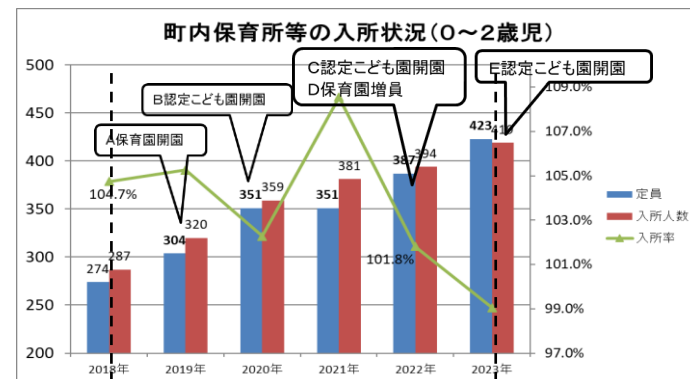
海田町人口・世帯数推移 (3月末住基人口)



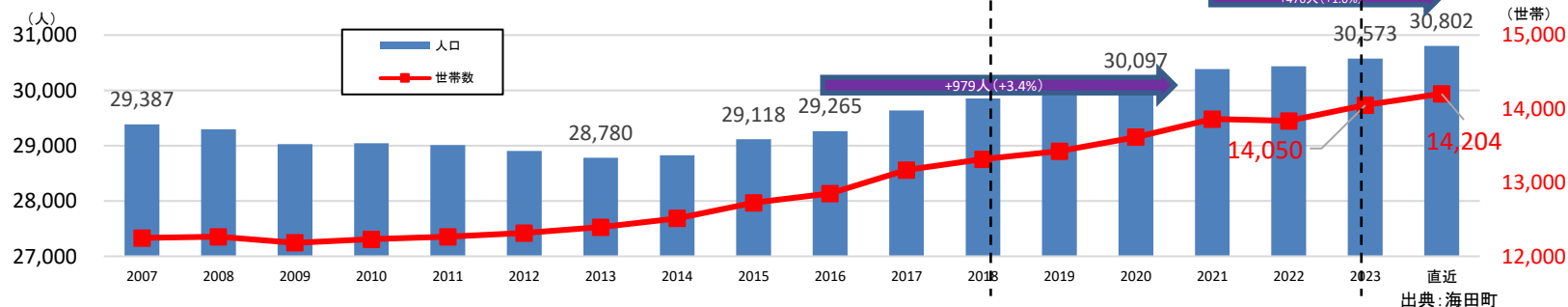
町内保育所等の入所状況

Point

- 年少人口の増加に対応するため、保育園2園、認定こども園3園の整備を支援
0～2歳児の定員は、149人、**54%増**
3～5歳児の定員は、131人、**42%増**



海田町人口・世帯数推移(3月末住基人口)



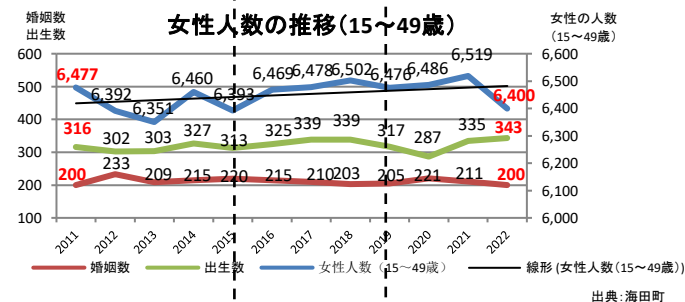
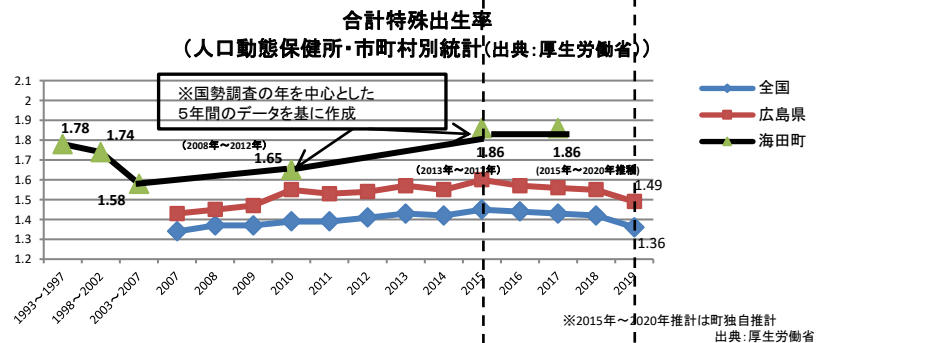
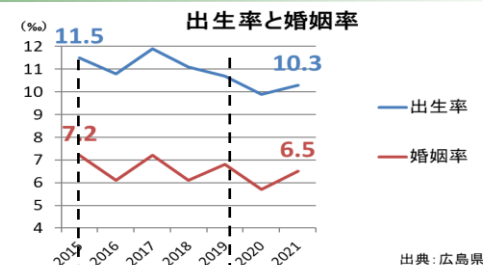
出典: 海田町

Point

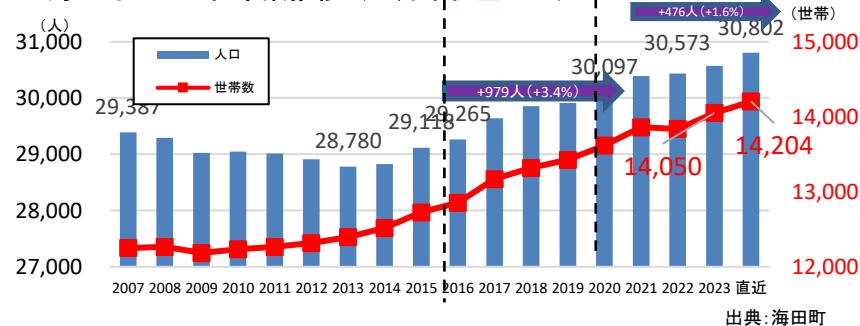
- 出生率，婚姻率ともに県内市町で最も高い



- 合計特殊出生率 **1.86** と広島県，全国を上回る
- 2.07**（人口置換水準）を目指す必要あり



海田町人口・世帯数推移(3月末住基人口)



大規模店舗の立地状況等(2020年総合計画の調査結果を含む)

- 望まれるまちの将来像は、「**自然と住宅地が調和したまち**」(45.2%)が最も多く、次いで「**住宅と商店等が調和したまち**」(19.5%)。
- 都市づくりにおいて重要な取組は、「**病院、店舗などの生活利便施設を結ぶ公共交通網の充実**」と答えた人が**57.6%**と最も多く、次いで「**広域的な道路網の整備**」(43.6%)。(n=1,026)

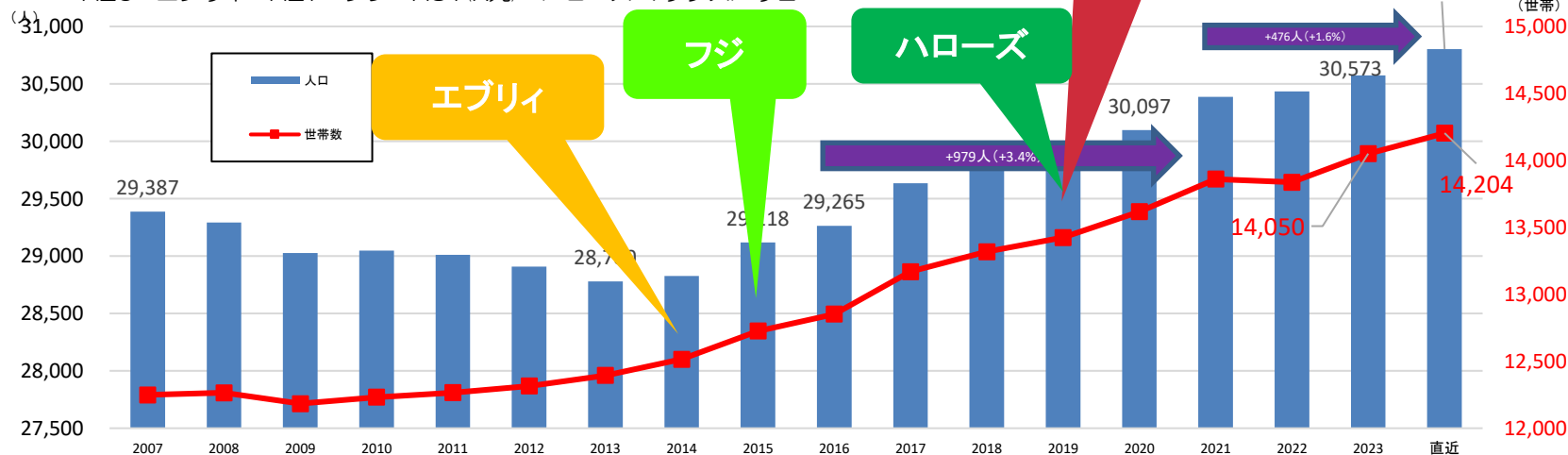
既存の店舗も含み、スーパー等が町内に点在し、生活利便性が向上 ⇒ **まちの好循環**

出典: 国立社会保障・人口問題研究所



海田町人口・世帯数推移(3月末住基人口)

- 人口増加に伴い、大規模店舗が立地
H26 エブリイ H27 フジ H31(R元) ハローズ マックスバリュ



出典: 海田町

人口移動と年齢別人口の変遷

Point

・子育て世代の転入超過が拡大傾向

【20代後半】

+46人 → **+407人**

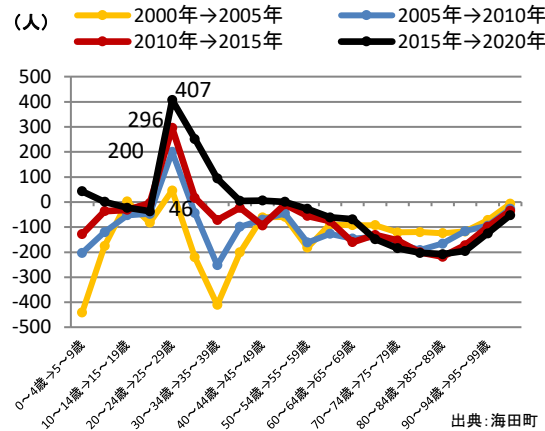
【30代前半】

▲220人 → **+252人**

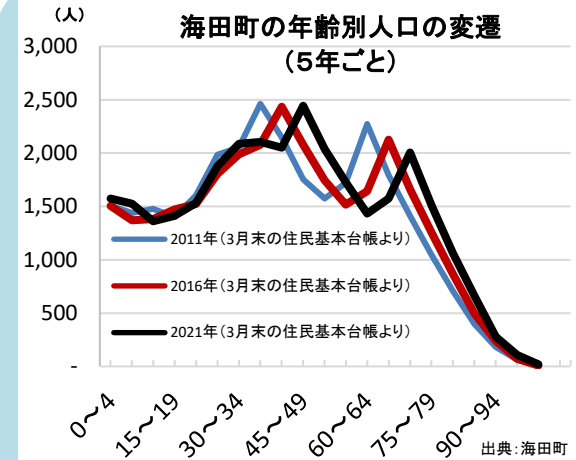
【30代後半】

▲410人 → **+94人**

人口移動



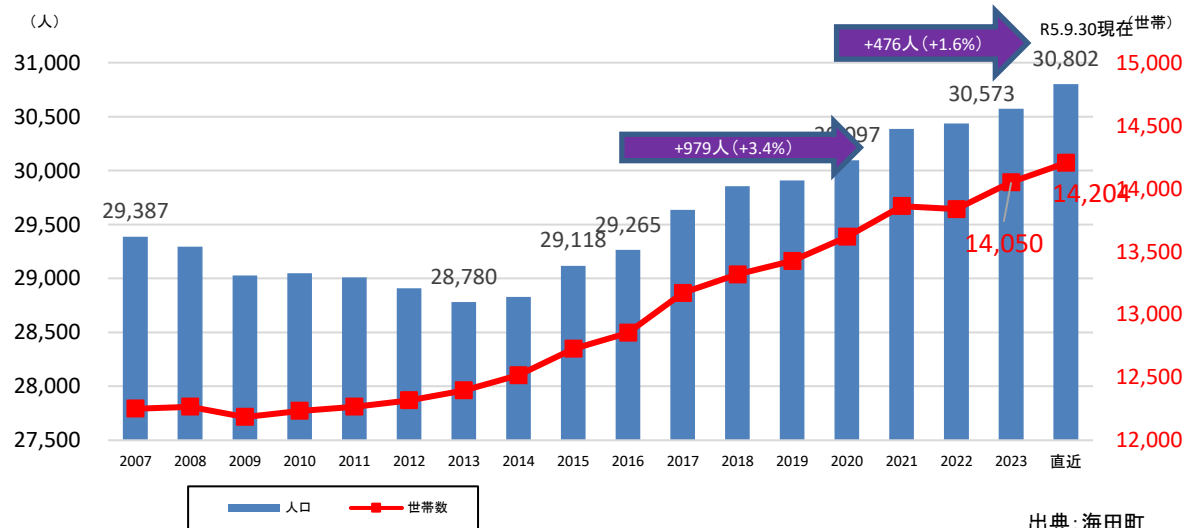
海田町の年齢別人口の変遷（5年ごと）



→5年ごとの年齢別人口の変遷では、子育て世代で、
右にスライドしてない

→**0歳～4歳人口も上昇傾向**

海田町人口・世帯数推移（3月末住基人口）



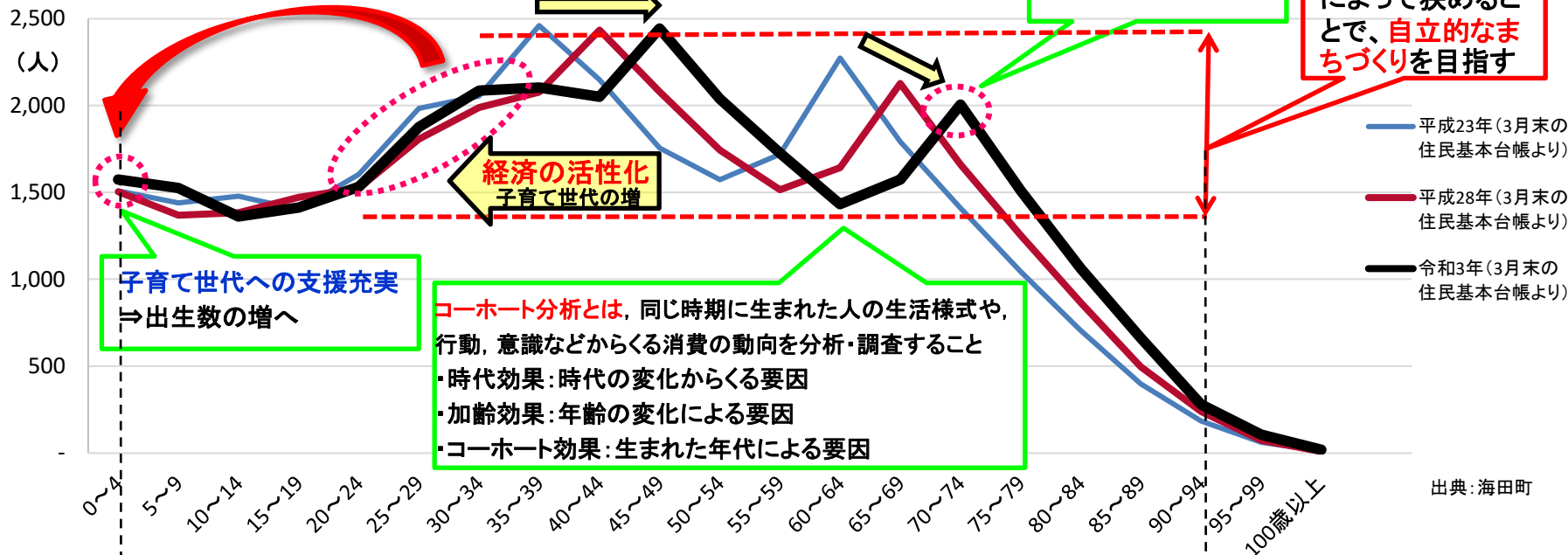
年齢別人口の変遷と3区分人口の状況

Point

海田町の年齢別人口の変遷

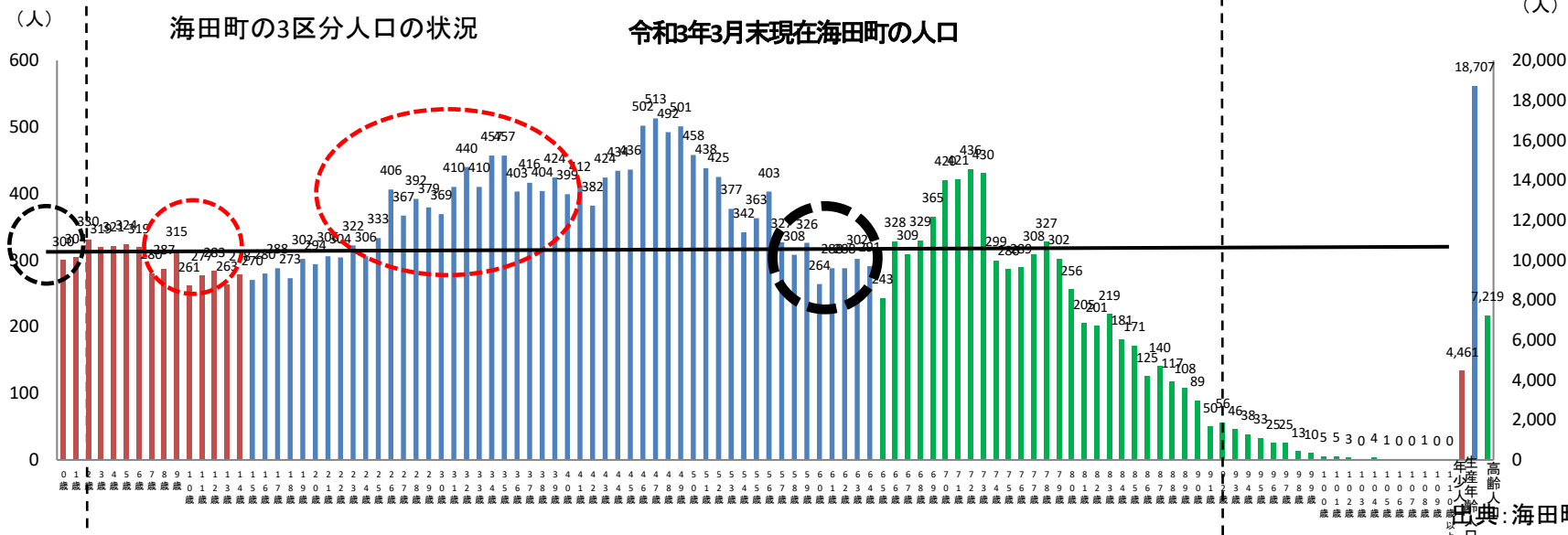
人生100年時代に対応
した施策の必要性

この幅を底上げ
によって狭めるこ
とで、**自立的なま
ちづくり**を目指す



海田町の3区分人口の状況

令和3年3月末現在海田町の人口



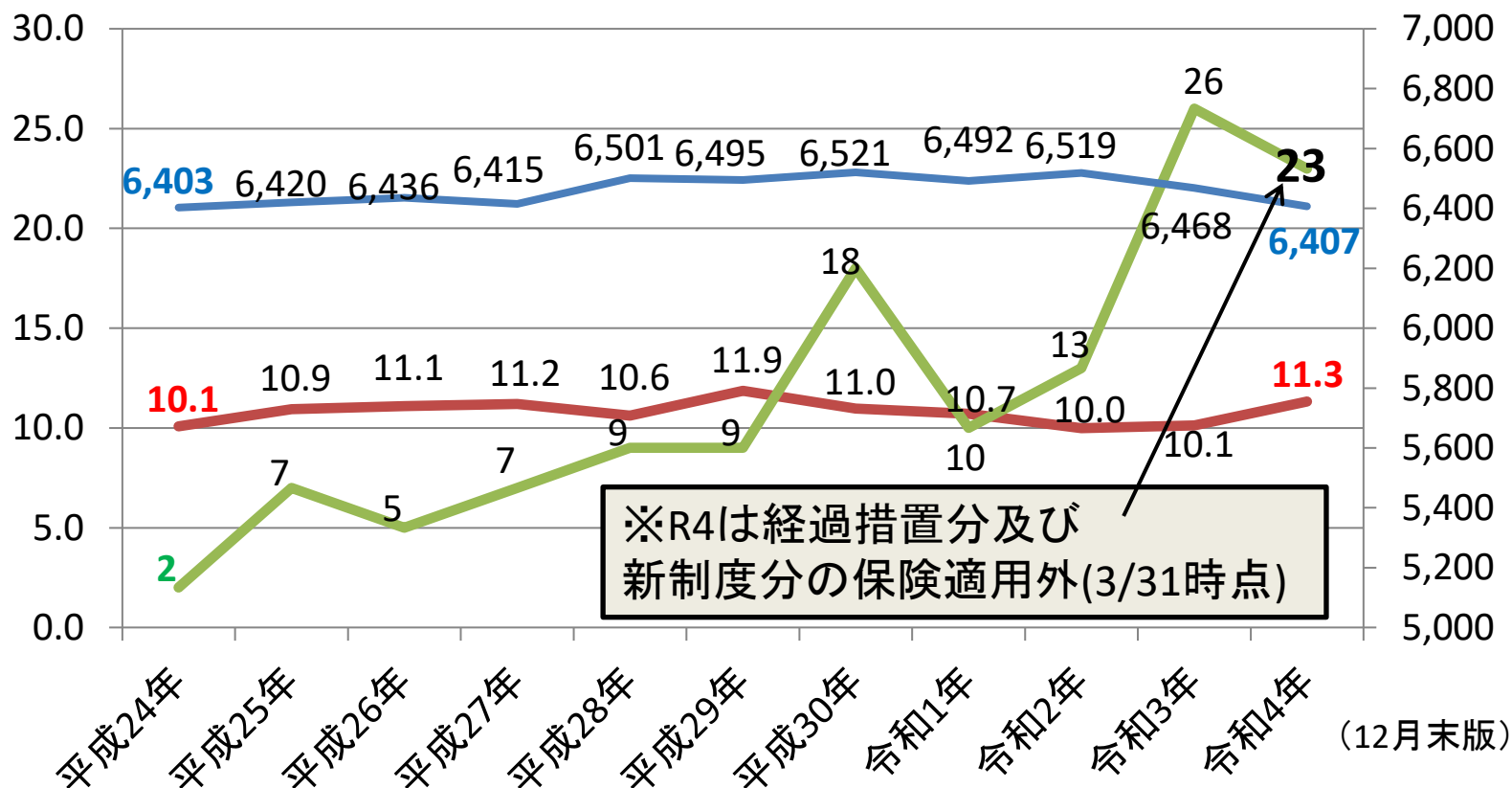
女性人口(15～49歳)・出生数・不妊治療による妊娠数

人口千人当たりの
出生数
町の不妊治療による
妊娠数

【補足】

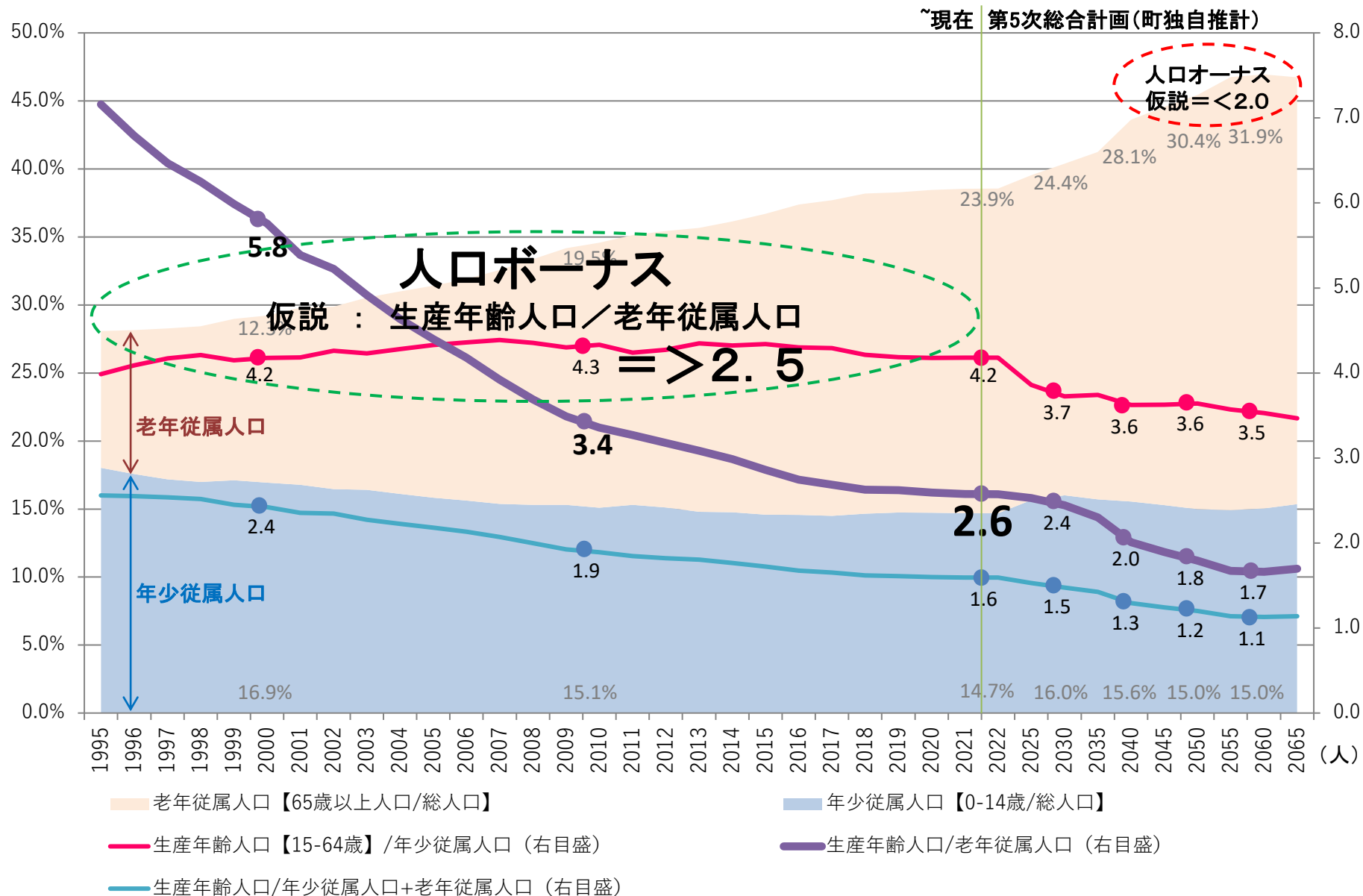
- 令和4年度実績は保険適用外のみを集計
- 国保適用は、治療5件
薬剤治療は、確認中
- 社保適用は、確認中

女性人口
(15～49歳)

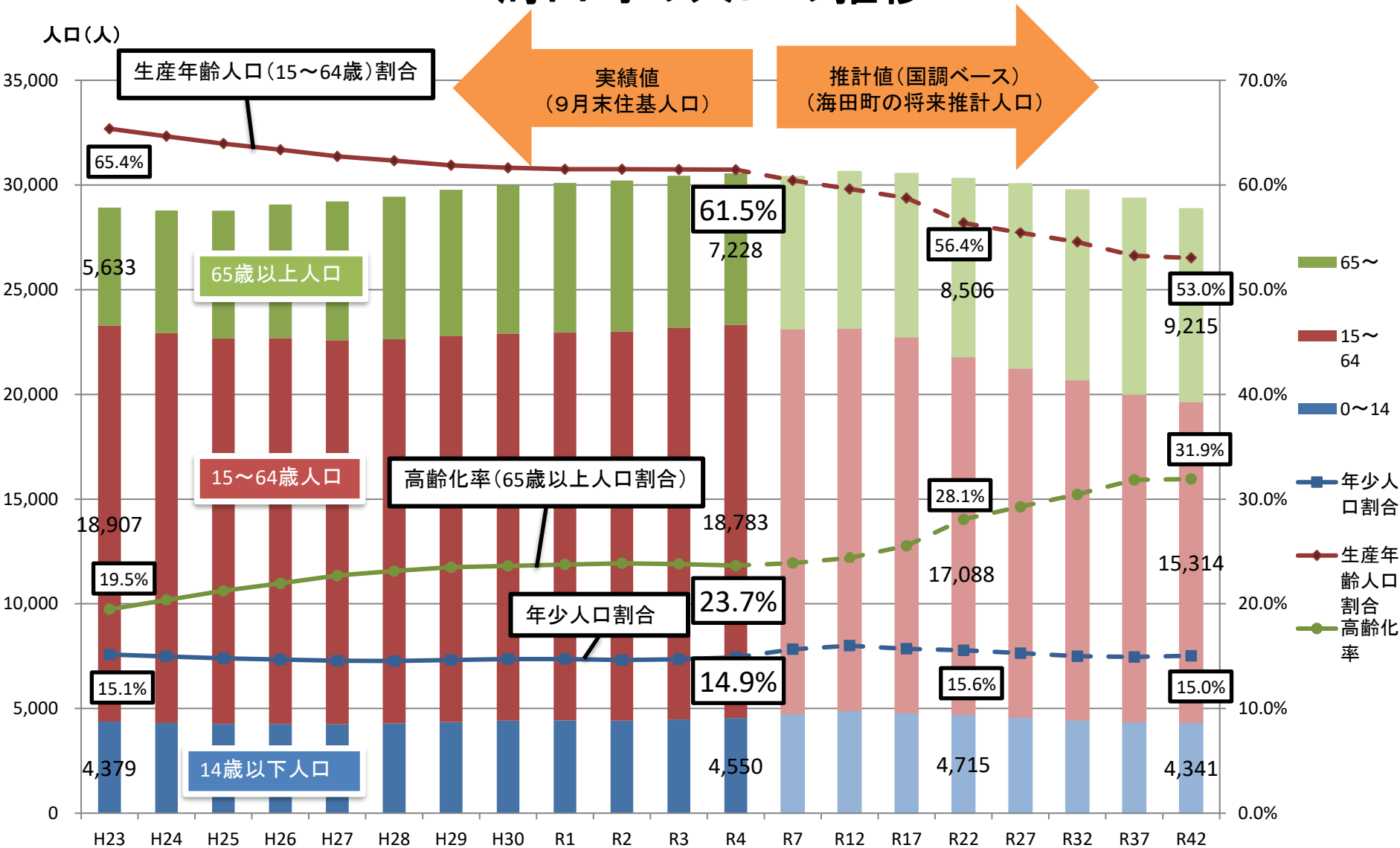


— 人口千人当たりの出生数 — 町の不妊治療による妊娠数(年度) — 女性人口(15～49歳)

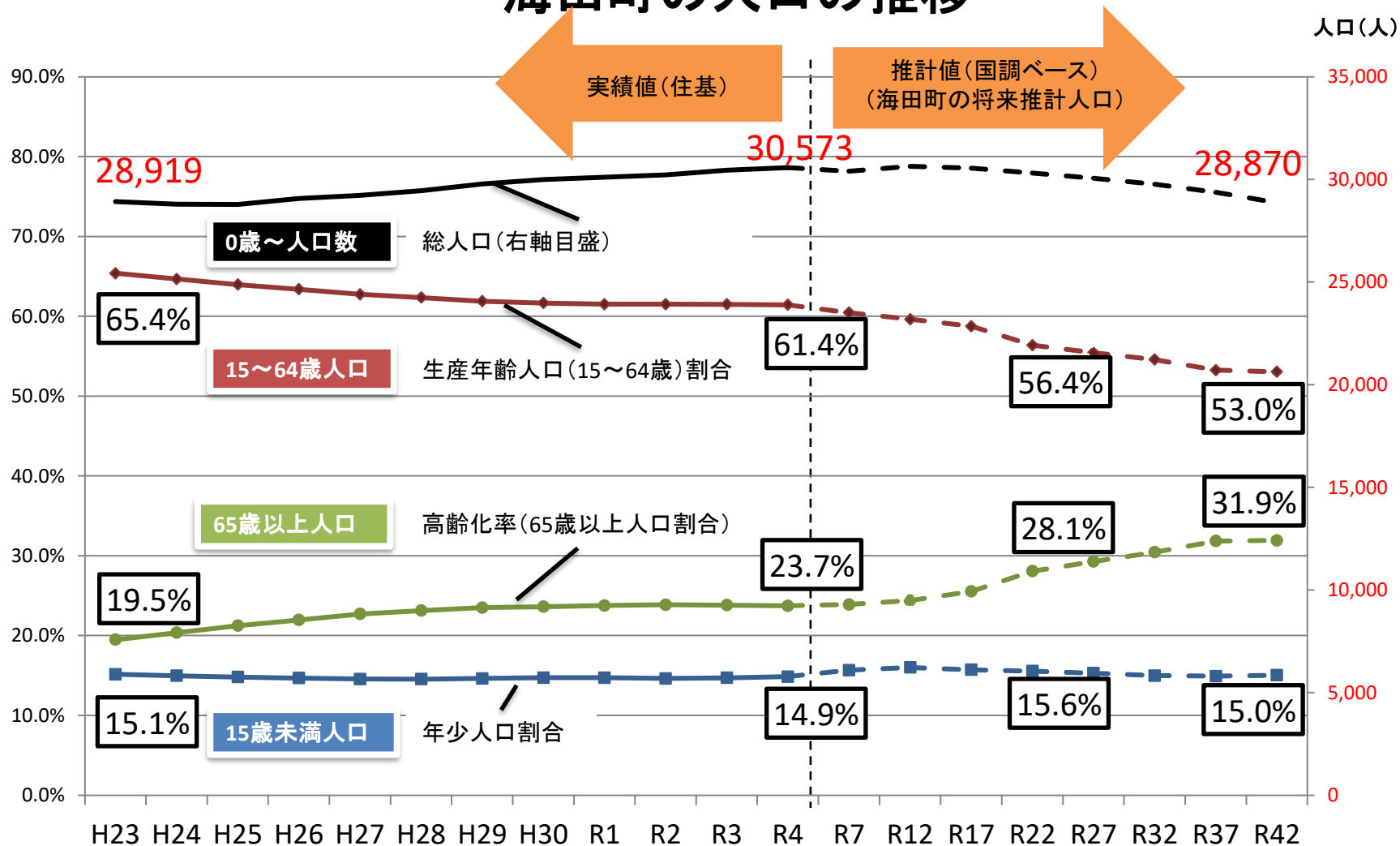
人口ボーナスと人口オーナス(概念)



海田町の人口の推移



海田町の人口の推移



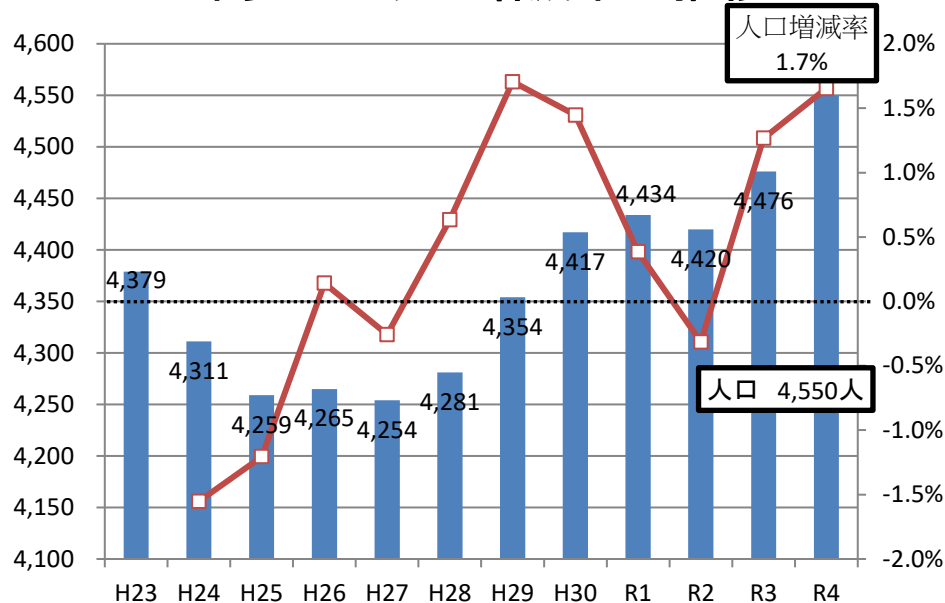
【実績値】令和5年3月31日現在(出典:海田町住民基本台帳)

【推計値】平成27年国勢調査の実績値に基づき海田町で独自集計

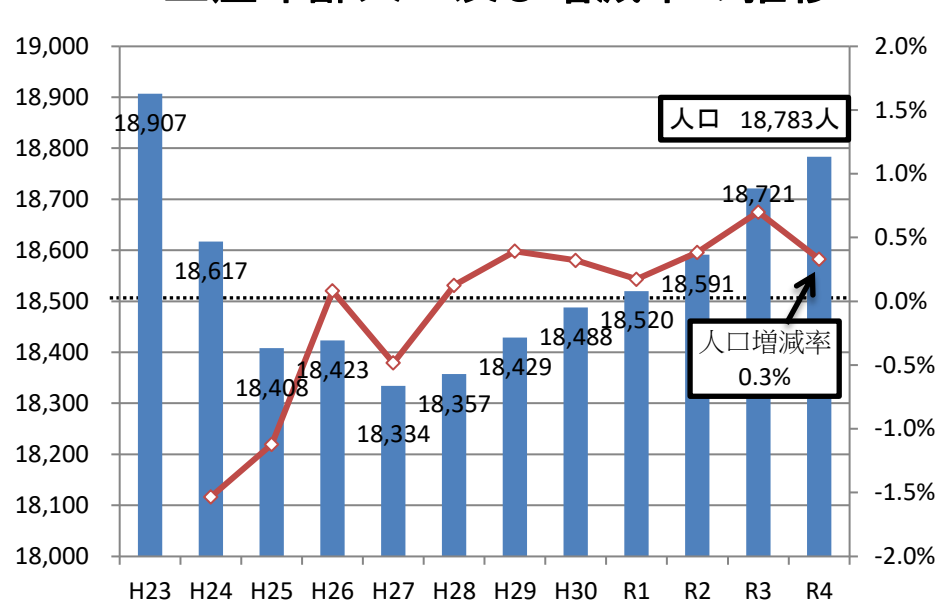
3階層の人口及び人口増減率の推移(H23. 9～R4. 9)



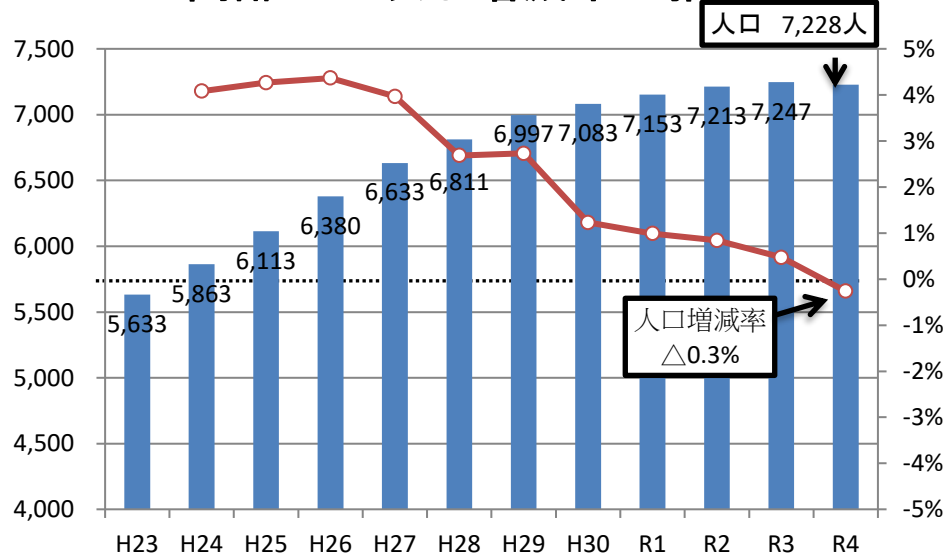
年少人口及び増減率の推移



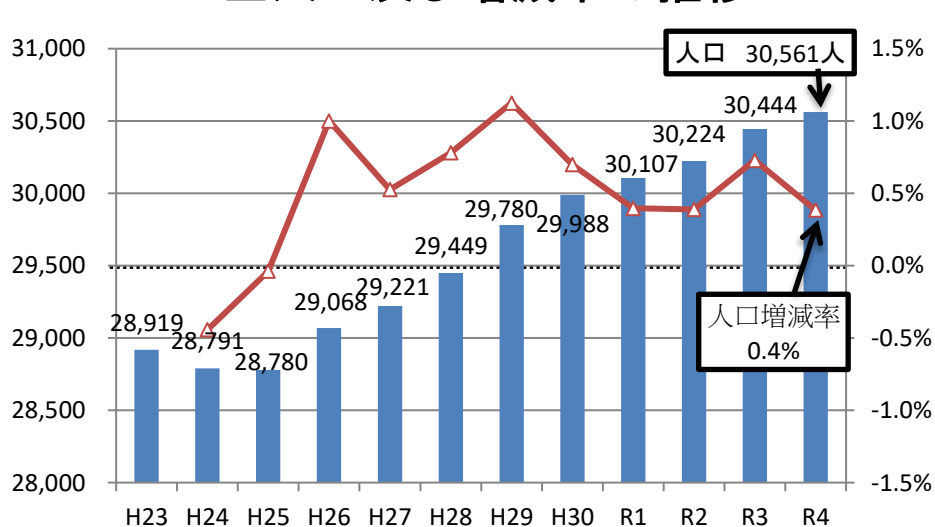
生産年齢人口及び増減率の推移



高齢人口及び増減率の推移



全人口及び増減率の推移



年少人口の過去10年の推移と3区分人口の未来10年の推計

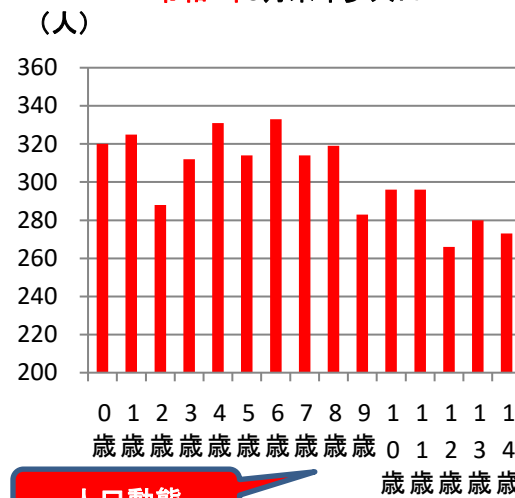
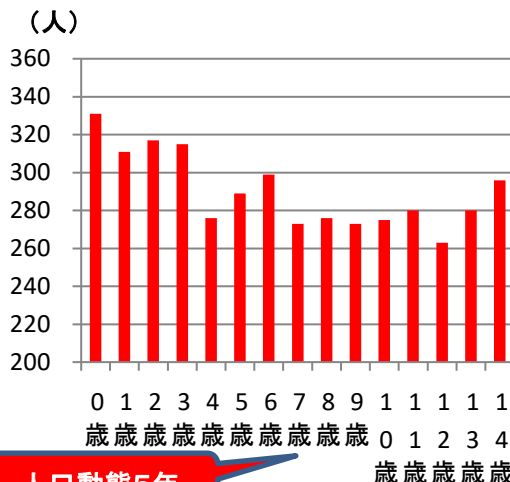
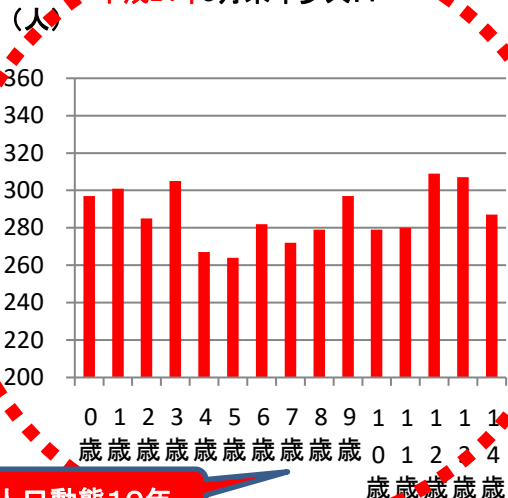
Point

過去

平成24年9月末年少人口

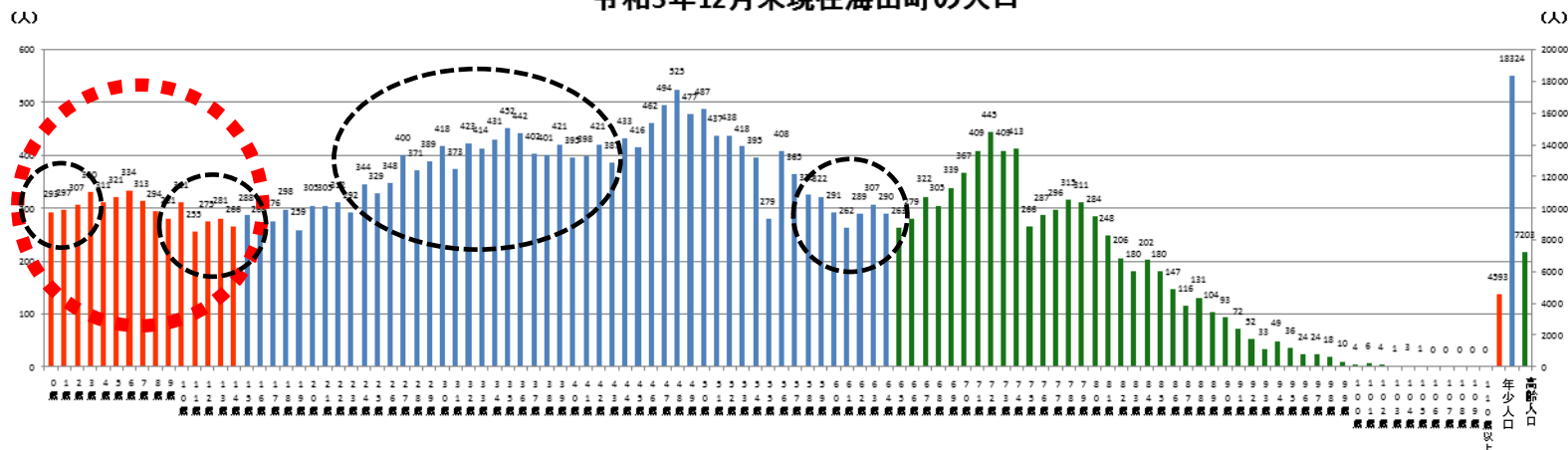
平成29年9月末年少人口

令和4年9月末年少人口



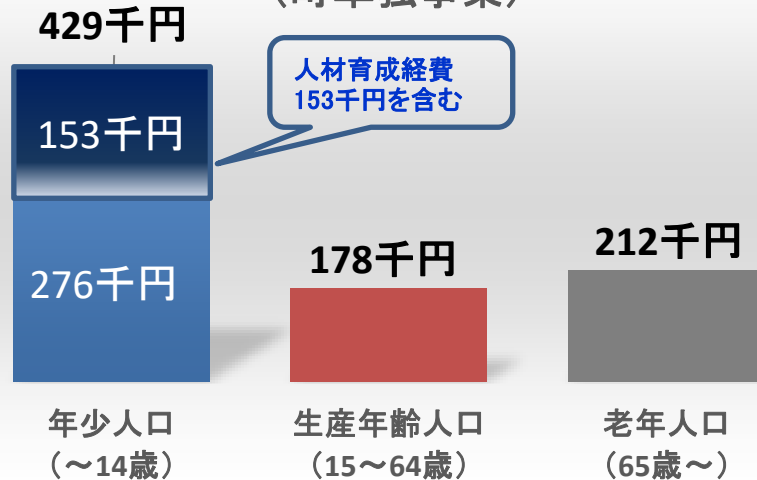
未来

令和3年12月末現在海田町の人口

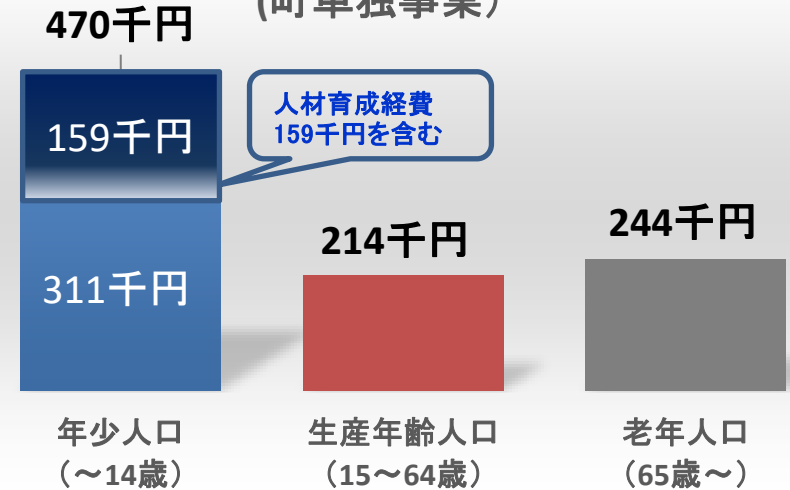


年齢別人口の変遷と年代別一人あたり事業費の推移(H27→R3)

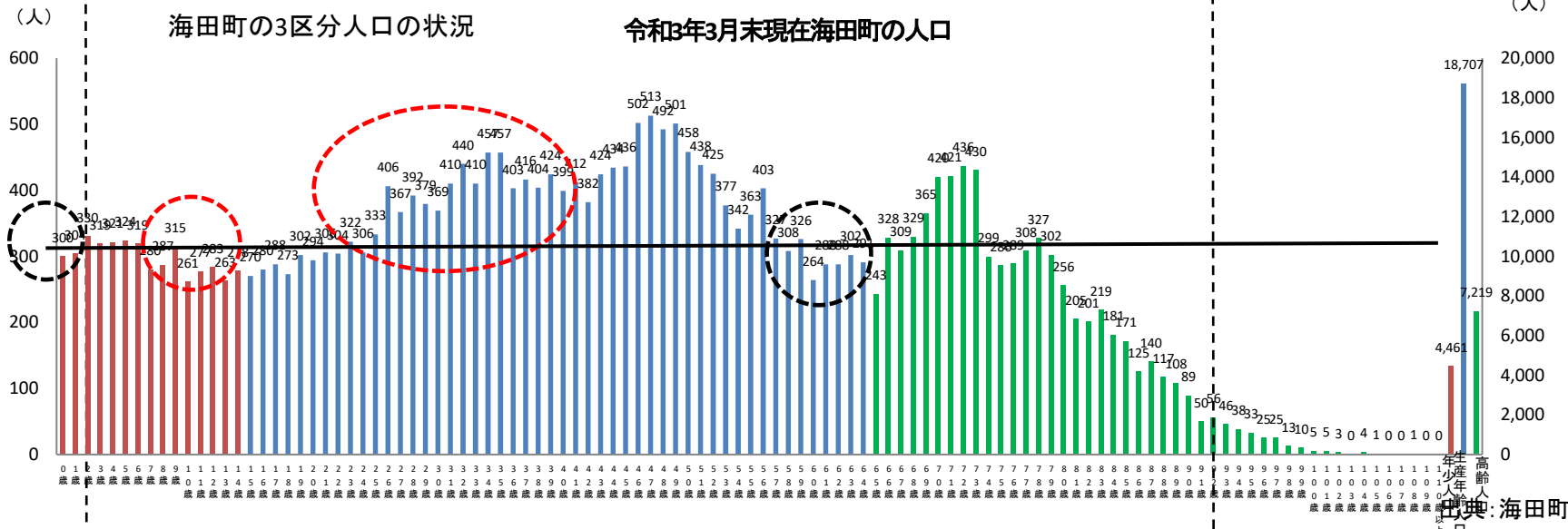
H27決算 年代別一人あたり事業費 (町単独事業)



R3決算 年代別一人あたり事業費 (町単独事業)



○一人あたり事業費では、年少人口一番多く、次いで老年人口となっている。
○H27とR3比較では、総じて一人あたり事業費が増加している。



第5次海田町総合計画(2021～2030年)の取り組み

～2軸のゾーン戦略 ⇒「まちまるごとオンリーワン」～

「中心拠点」

- ・東部地区連続立体交差事業
- ・西国街道
- ・織田幹雄スクエア
- ・新庁舎整備

ループ状の交通ネットワーク再編

JR海田市駅からのデータを海田町で加工

「地区拠点」

- ・海田東地区拠点施設整備
- ・JR海田東新駅の可能性検討
- ・新畝橋整備
- ・東広島バイパスの整備
- ・海田総合公園Ⅱ工区整備

高等学校:2校	保育園:7園(R3.12移転・定員増)
中学校:3校	幼稚園:3園
小学校:4校	認定こども園:3園(+2 R4.2,R4.10新設)
専門学校:1校	病児保育施設:1施設(R4.4新設)
大型スーパー	

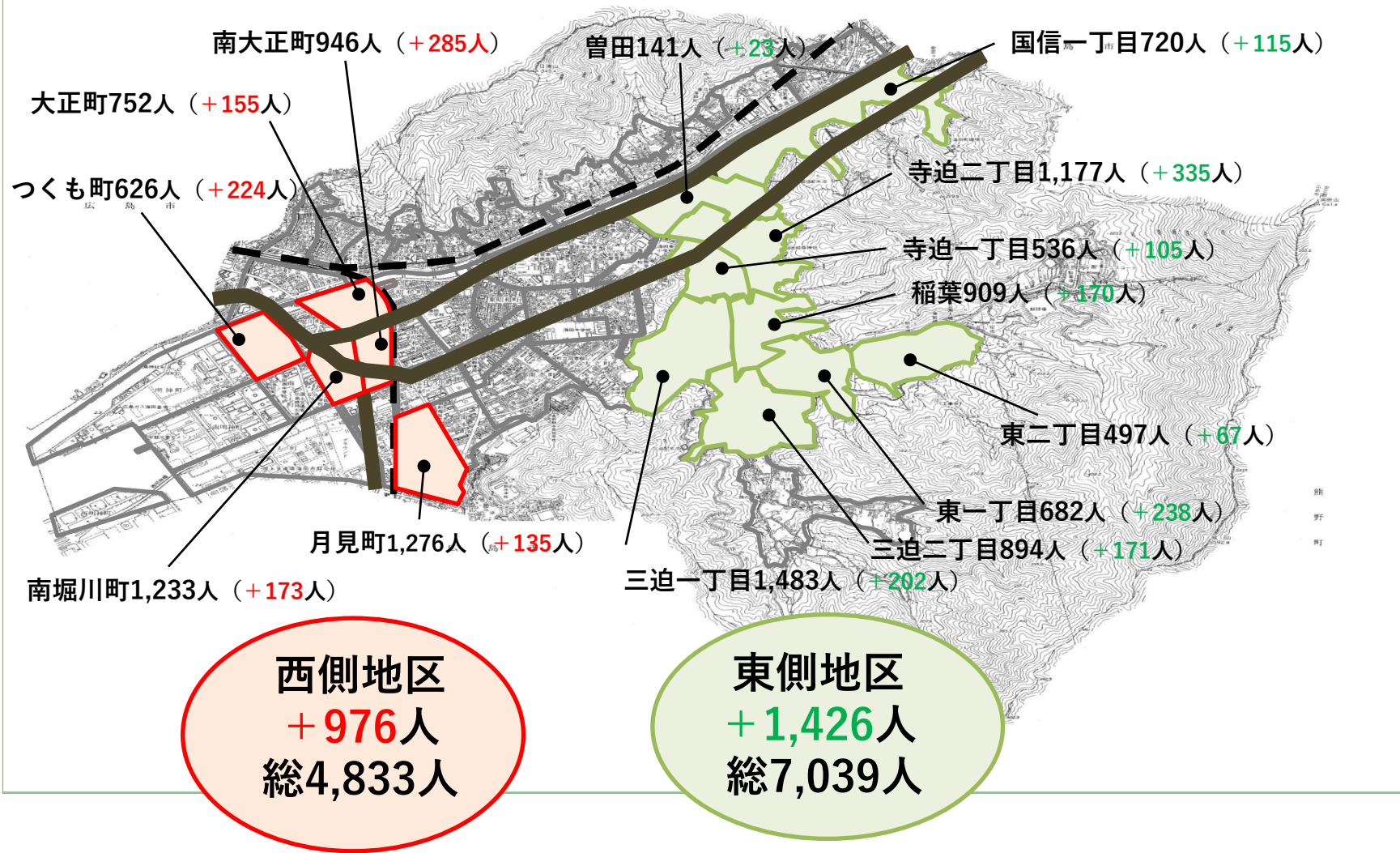


- ・令和4年度に東広島バイパスが完成し、町の東西に国道2号線とバイパスの2軸が通貫し、JR海田東新駅が実現すれば更に交通ネットワークの強化される。
- ・海田市駅周辺の「中心拠点」と、東部の「地区拠点」の2つの拠点を整備して、集中による利便性の向上を図るとともに、2つの拠点を結ぶ軸により、まちのどこでも各地区の特徴や利便性を享受できる「暮らしやすさが実感できるまち かいだ」の実現を目指す。

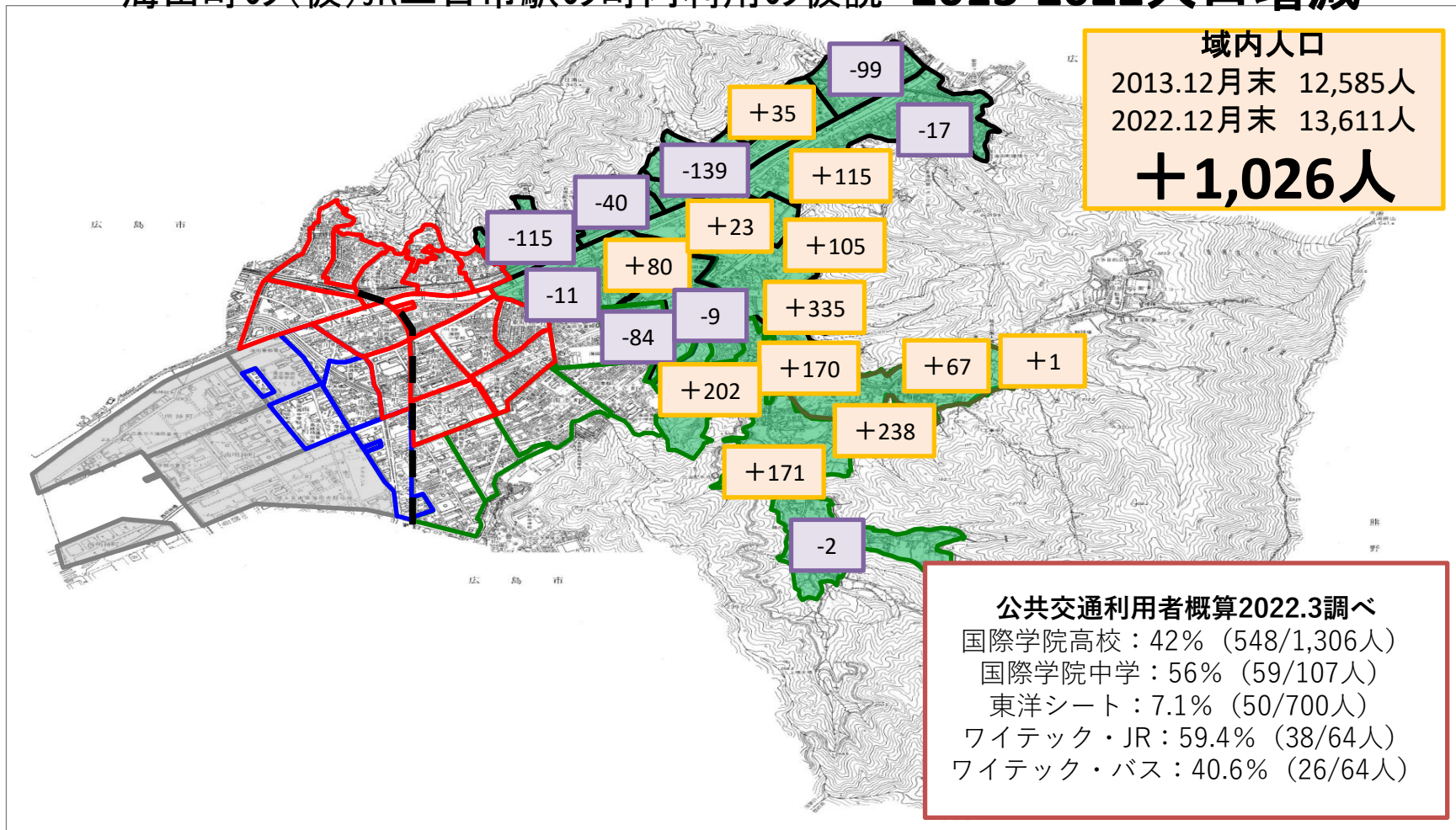
第5次海田町総合計画(2021～2030年)の取り組み

2013.12月末～2022.12月末 人口10%以上増加地区

※人口100人以上地区



～海田町の(仮)JR二日市駅の町内利用の仮説 2013-2022人口増減～



(2)-2 高齢者人口密度の将来見通し(社人研推計)

■概況

- 中心市街地、市街化区域縁辺部などを中心に、高齢者数が増加。

■課題

→公共交通の確保や生活サービス施設の維持等の
高齢者対策が必要。

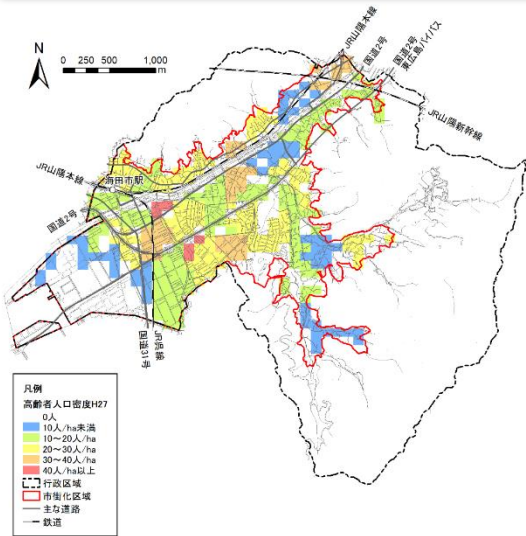
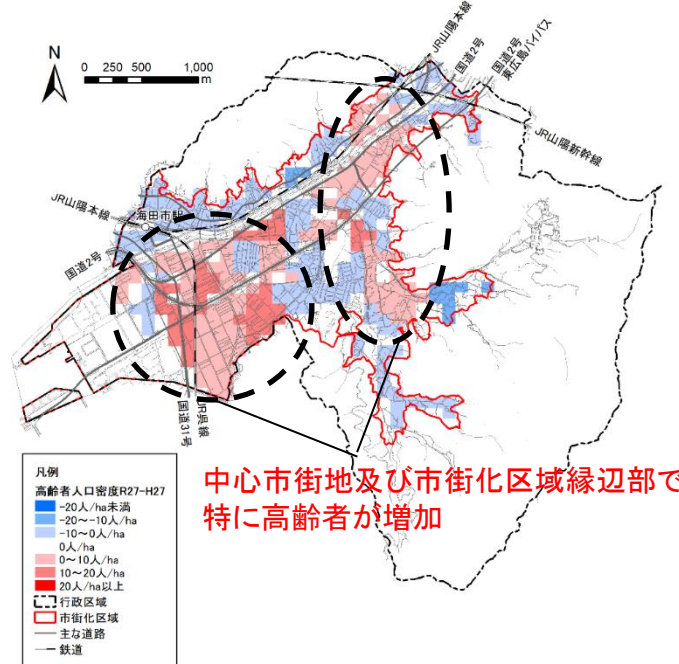


図 高齢者人口密度の分布
H27(2015)

資料：H27国勢調査



中心市街地及び市街化区域縁辺部で
特に高齢者が増加

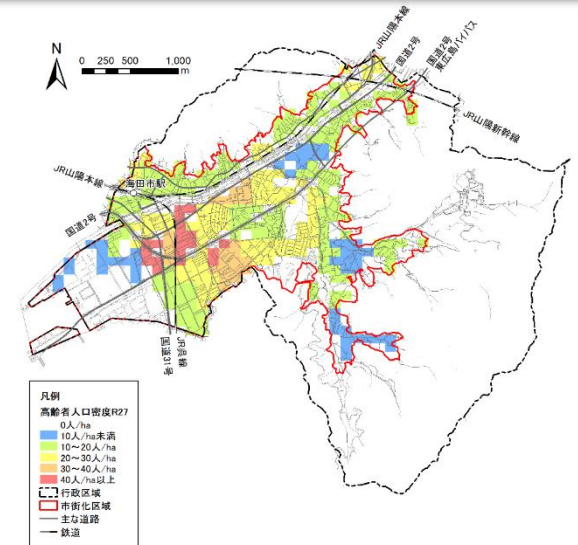


図 高齢者人口密度の分布
R27(2045)(社人研準拠)

図 高齢者人口密度差分の分布R27(2045)-H27(2015)(社人研準拠)

(3)-1 人口密度の将来見通し(町独自推計)

■概況

- ・国道31号、国道2号沿いを中心に人口が増加。

■課題

- ・社人研推計と反対の結果。
→推計通り人口が増加すればよいが、**人口が減少した場合の対策の遅れ**に注意する必要がある。

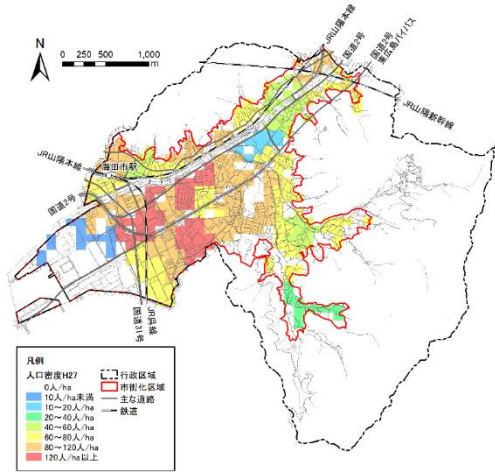


図 人口密度の分布H27(2015)

資料：H27国勢調査

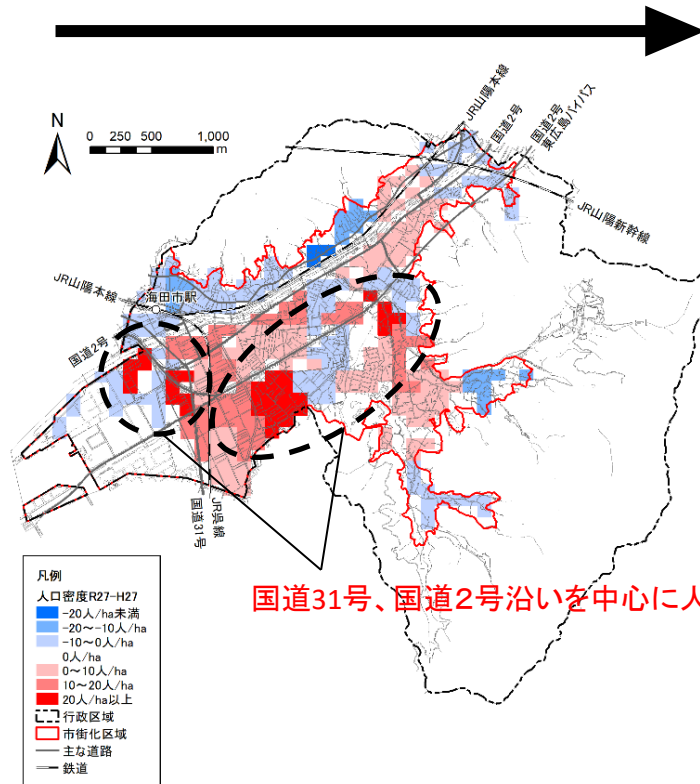


図 人口密度差分の分布R27(2045)-H27(2015)(町独自推計)

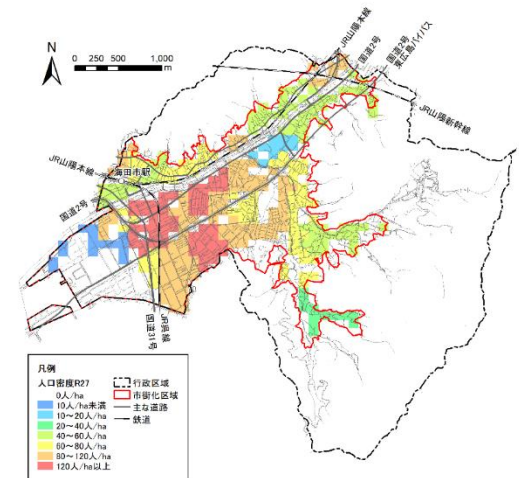
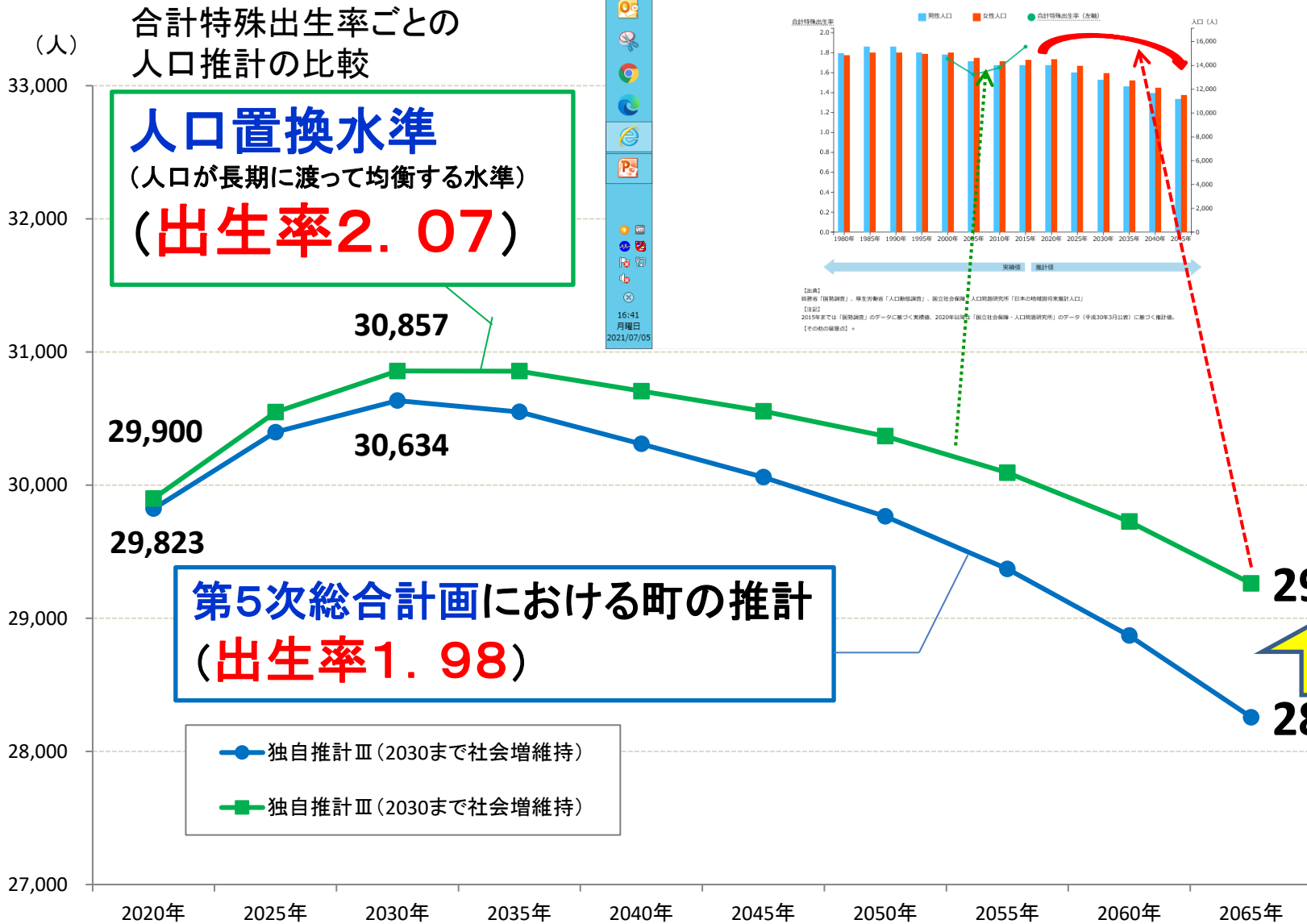


図 人口密度の分布R27(2045)
(町独自推計)

⑦人口推計



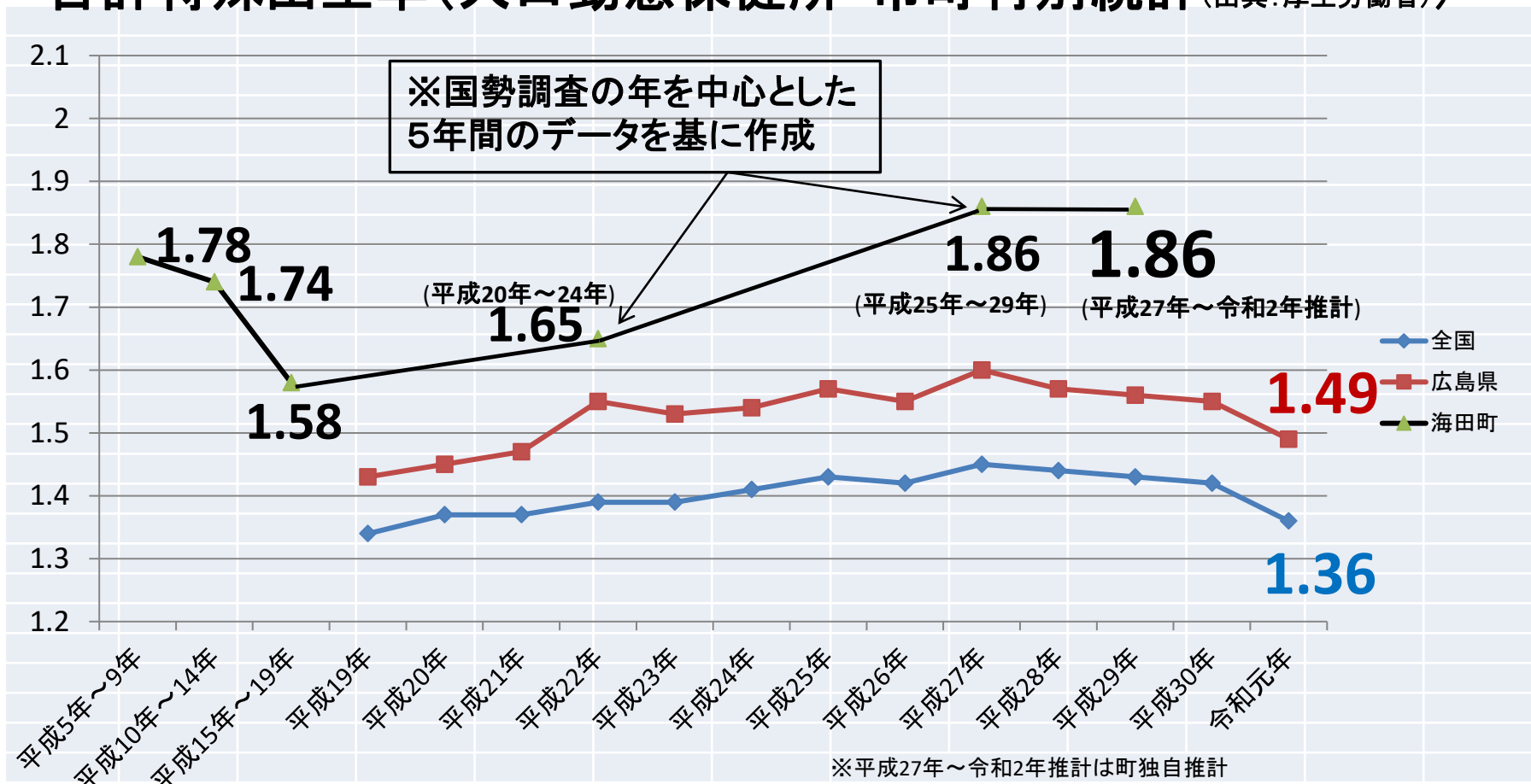
広島県
海田町



⑥合計特殊出生率の状況

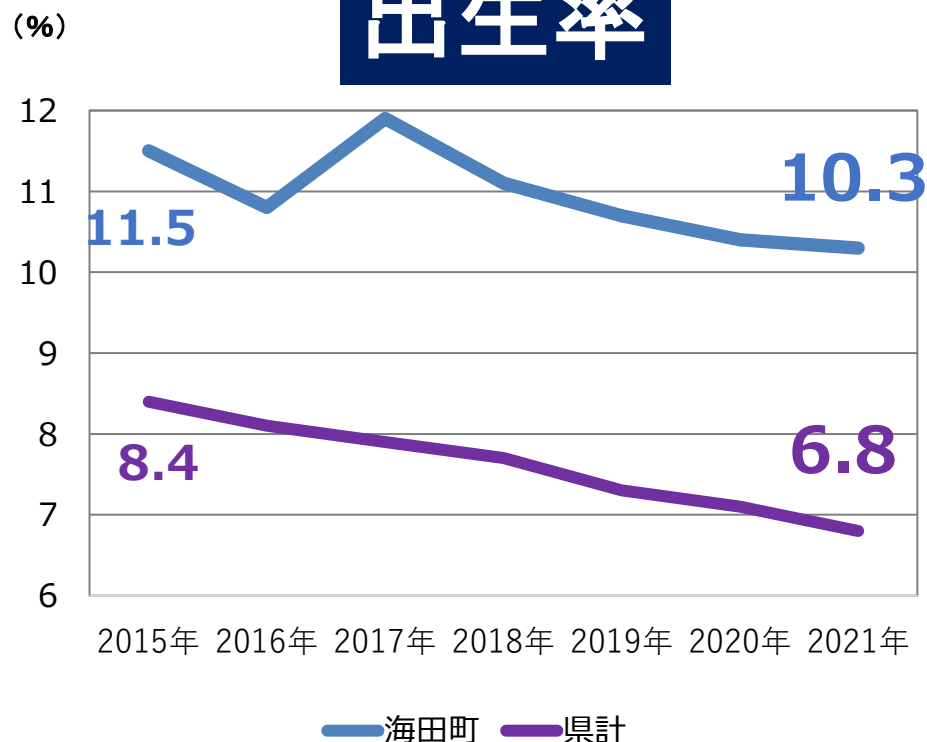
海田町の合計特殊出生率は平成15年～19年平均の1.58から上昇傾向にあり、平成25年～29年の平均で1.86と、広島県平均や全国平均を大きく上回っています。

合計特殊出生率(人口動態保健所・市町村別統計)(出典:厚生労働省)

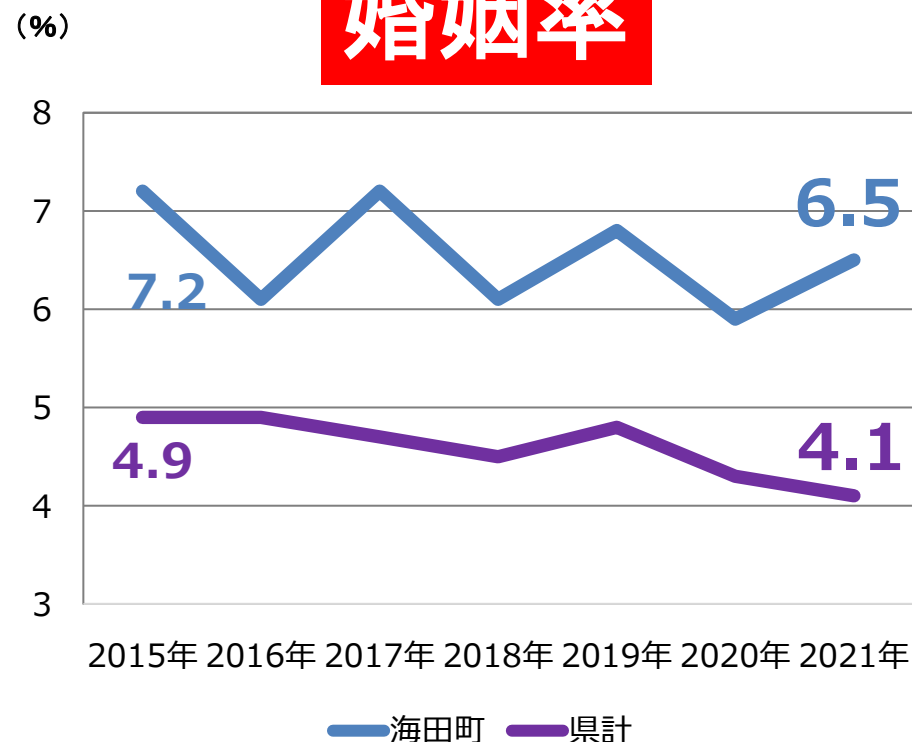


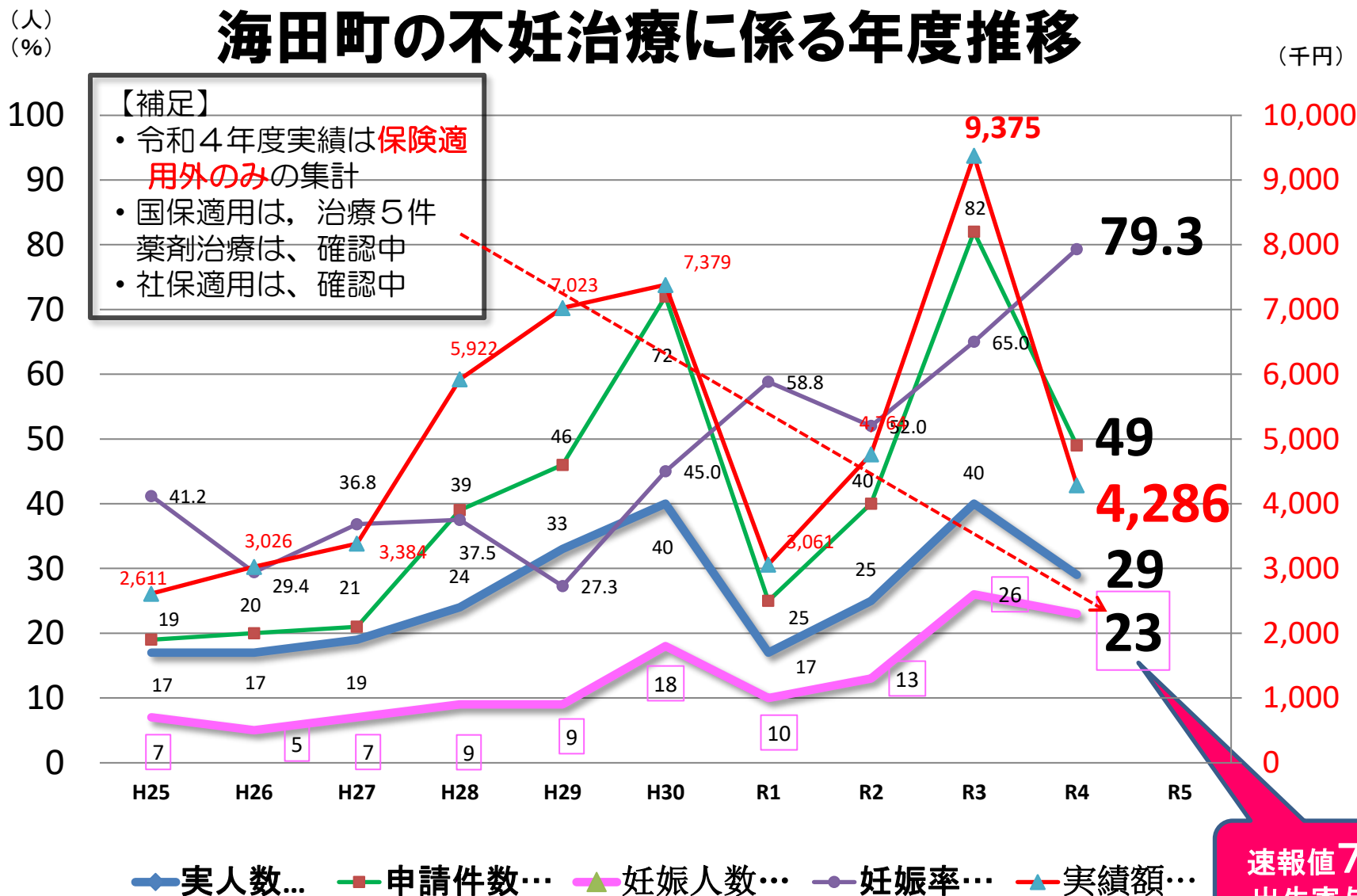
⑤海田町の出生率と婚姻率の状況

出生率

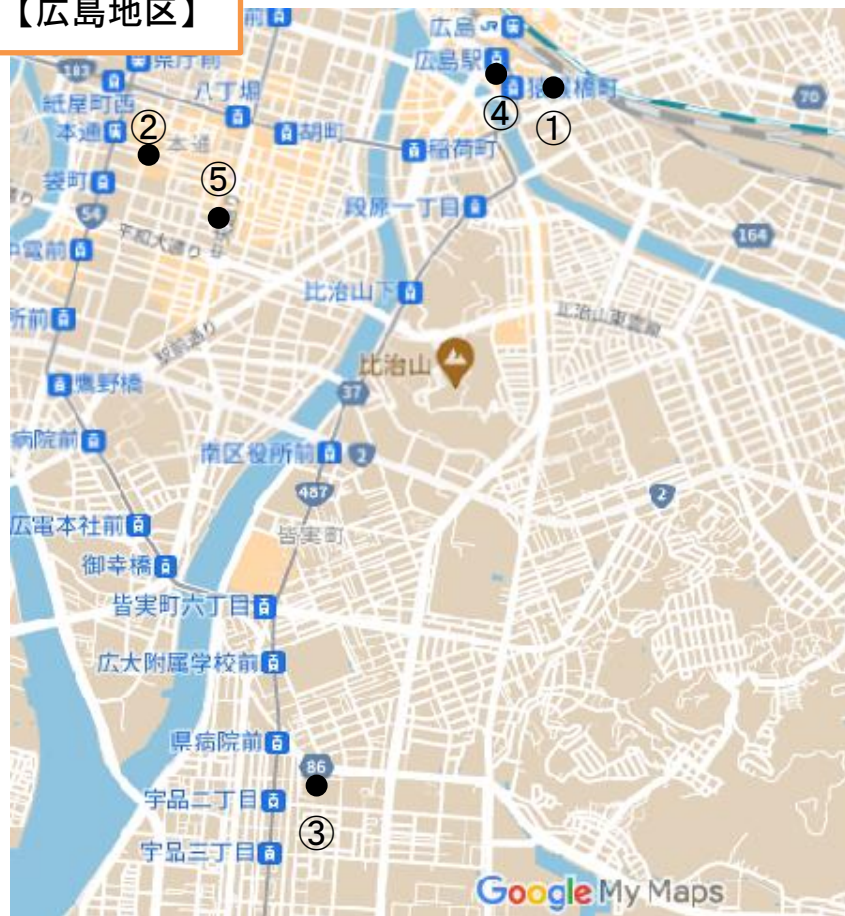


婚姻率





【広島地区】



不妊治療医療機関一覧表 2023.03.31

No	医療機関名	住所
①	広島HARTクリニック	広島市南区松原町3-1-301
②	絹谷産婦人科	広島市中区本通8-23
③	県立広島病院	広島市南区宇品神田1丁目5-54
④	IVFクリニックひろしま	広島市南区松原町5-1 4F
⑤	香月産婦人科	広島市中区三川町7-1
⑥	笠岡レディースクリニック	呉市西中央1丁目3-9

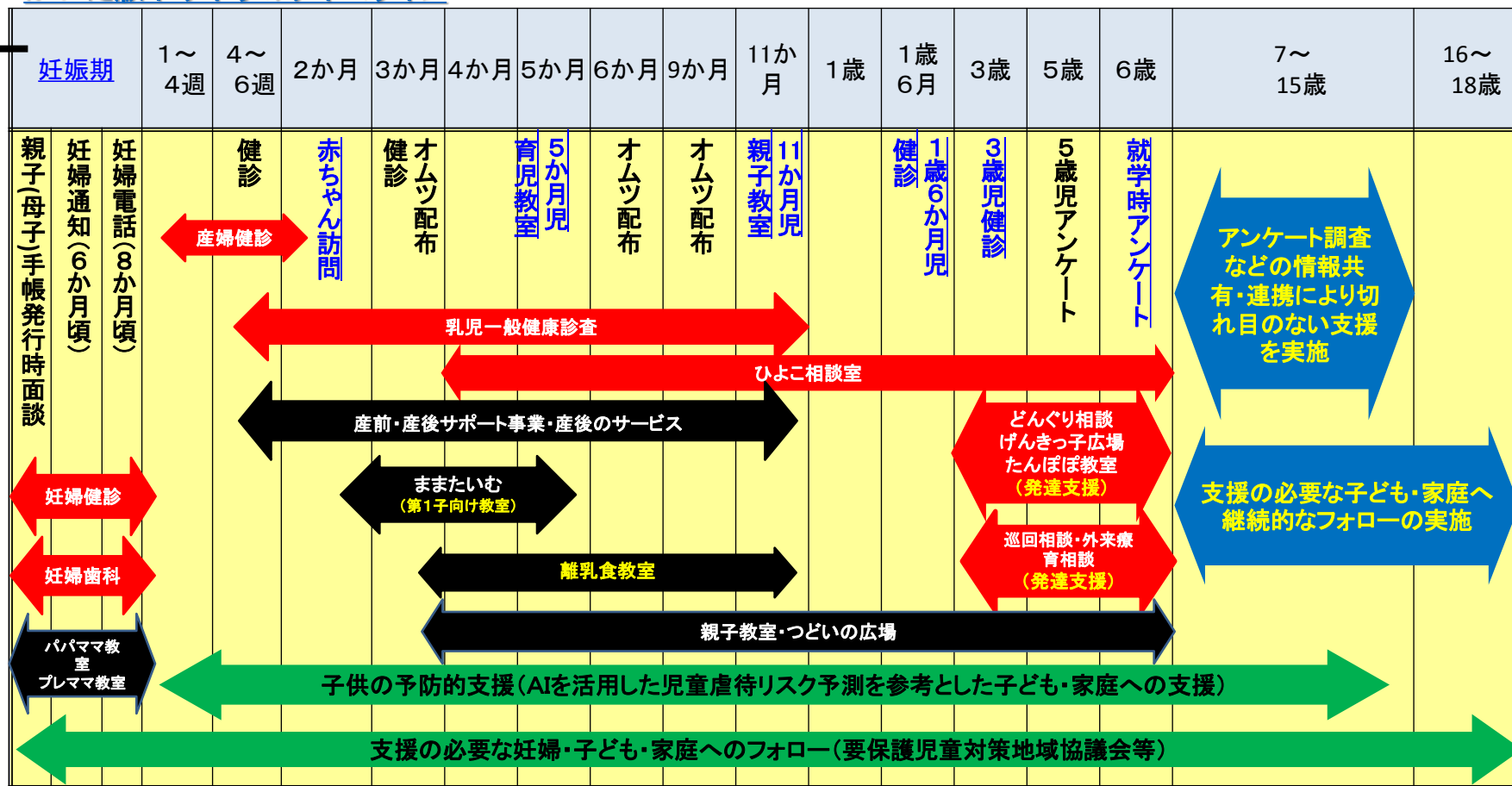
【呉地区】



かいた版ネウボラの経緯

年度	月	新規事業	
平成29年度	5月	・かいた版ネウボラ事業プレオープン ・プレママ教室・ひよこ相談室開始・11か月児親子教室(ぐんぐん)開始	
	10月	・かいた版ネウボラ事業オープニングセレモニー開催・本格始動 ・ひまわりプラザ2階オープンスペース『つどいの広場』リニューアル, 3階和室沐浴槽設置 ・ひまわりプラザで土曜日の母子健康手帳発行開始 ・産後ケア事業, 産前・産後サポート事業開始	
平成30年度	4月	・土曜日にお父さん講座等, 家族参加型講座を開始 ・パパママ教室の講座内容の拡充・妊婦通知・妊婦電話開始	①父親の育児参加
	11月	・ふれあいバスラッピングセレモニー開催・運行開始	
令和元年度	5月	・離乳食教室・ステップ2を開始	②ネウボラ・アプリ導入
	7月	・食育支援ファイルの発行開始	
	10月	・ネウボラアプリの開始	
	1月	・トウオヴィ・ハクリネン氏 (フィンランド国立保健福祉研究所母子保健部門研究総括部長:ネウボラ保健師)来館 ・広島ネウボラ・シンポジウムに参加	③オンラインおしゃべり広場
令和2年度	4月	地区担当保健師の体制強化	
	5月	オンラインを活用した教室等の開始	④おむつの支給
	6月	海田児童館・町民センターでひよこ相談を開始	
令和3年度	4月	子育て家庭おむつ支給事業を開始	
令和4年度	4月	ネウボラ事業に発達支援事業を位置づけ, 療育につなげる取組を推進 産後ケア事業の訪問型(アウトリーチサービス)を開始	
令和5年度	4月	産後ヘルパー派遣事業の対象を産後1年未満に拡大	

かいた版ネウボラのタイムライン



かいた版ネウボラのタイムライン

「ひろしま版ネウボラ」理念

広島で生まれ、育つすべての子供たちの健やかな育ちに向けて、広島で子育てをするすべての人が、
地域とのつながりを感じ、『あたたかく見守られている』と心から実感できる社会を実現する。

「ひろしま版ネウボラ」とは

全ての子育て家庭の状況を漏れなく・切れ目なく把握し、それぞれの状態に応じた適切な支援サービスにつなげるとともに、子育て家庭の不安が解消するまで見守り・支援する仕組み

「ネウボラ」とは

フィンランド語「Neuvo la」はアドバイスの場という意味。
フィンランドにおいて妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を行う拠点。

【ひろしま版ネウボラの取組】

◇面談回数の追加・完全な全数把握

⇒国が求める5回の面談に2回以上追加し、妊娠期（母子健康手帳交付時）から3歳までの間に計7回以上の面談を実施

⇒国が求める5回の面談については、100%の家庭の状況を把握

◇関係機関との連携

⇒支援が必要な家庭の基準を医療機関や保育機関等の関係機関と共有し、当該基準に基づいて市町に情報提供する仕組みの構築

◇子育て家庭に選ばれる相談窓口

（困る前からつながっていることで、いざという時に頼ってもらえる窓口を目指す）

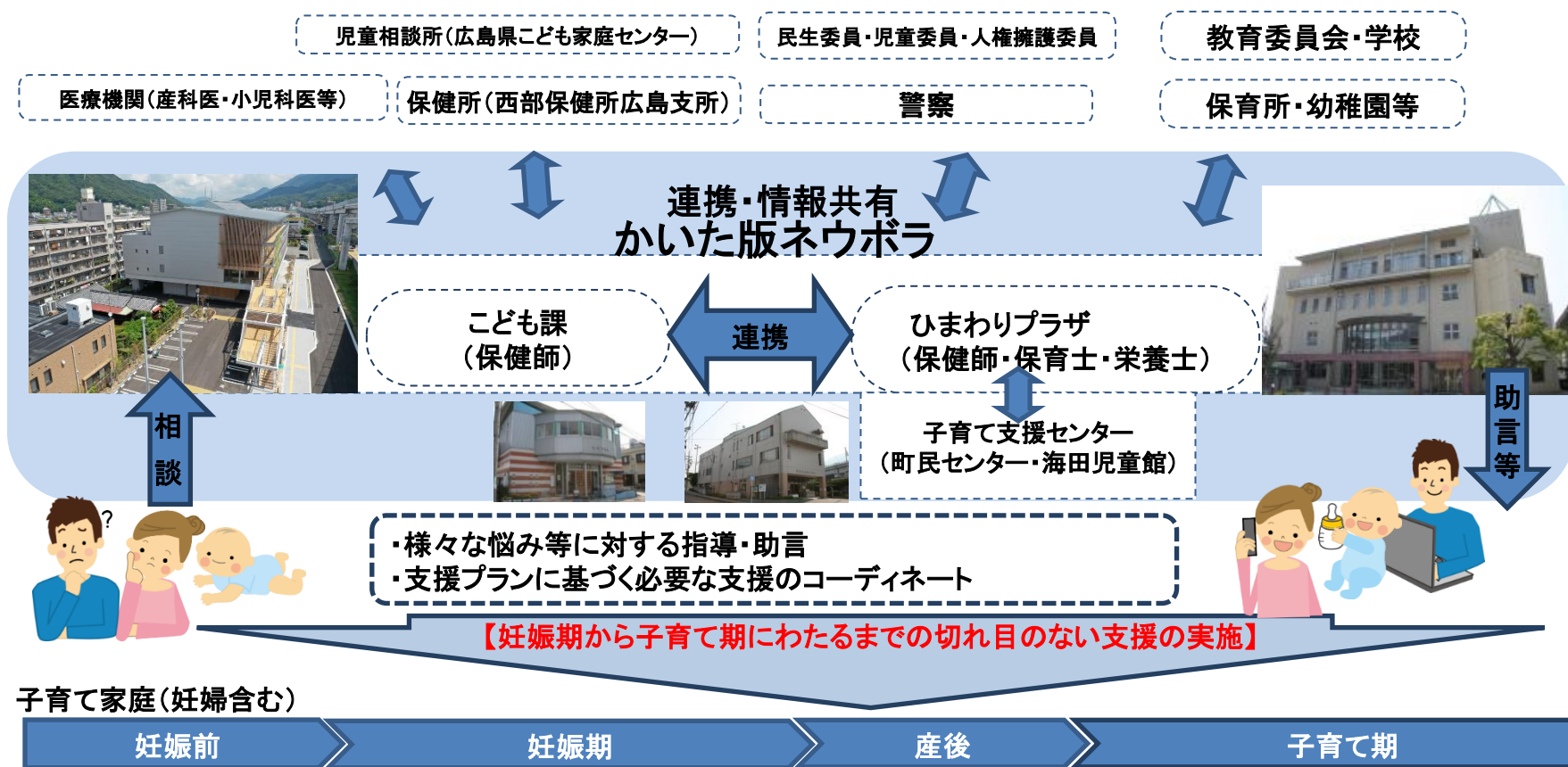
⇒拠点に配置されたネウボラ相談員が、氏名を明示した上で、妊娠期（母子健康手帳交付時）から継続して対話を実施

かいた版ネウボラの取り組み

【ひろしま版ネウボラの取り組み】◇関係機関との連携

⇒支援が必要な家庭の基準を医療機関や保育機関等の関係機関と共有し、当該基準に基づいて市町に情報提供する仕組みの構築

【かいた版ネウボラ取り組み】





かいた版ネウボラ
湯崎広島県知事
セレモニー



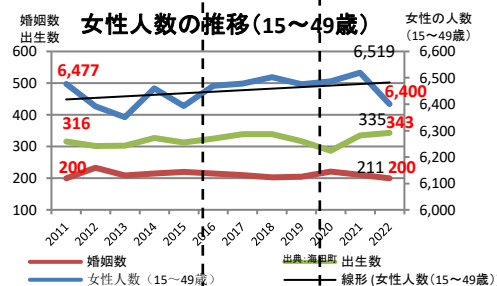
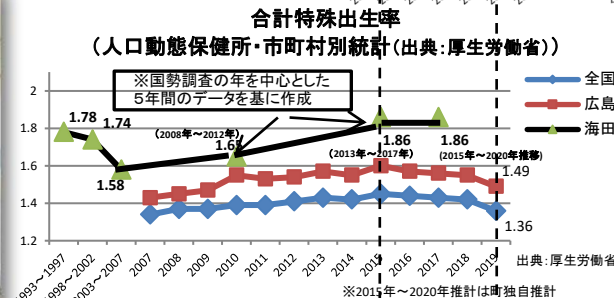
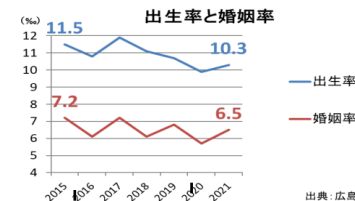
かいた版
ネウボラ・バス



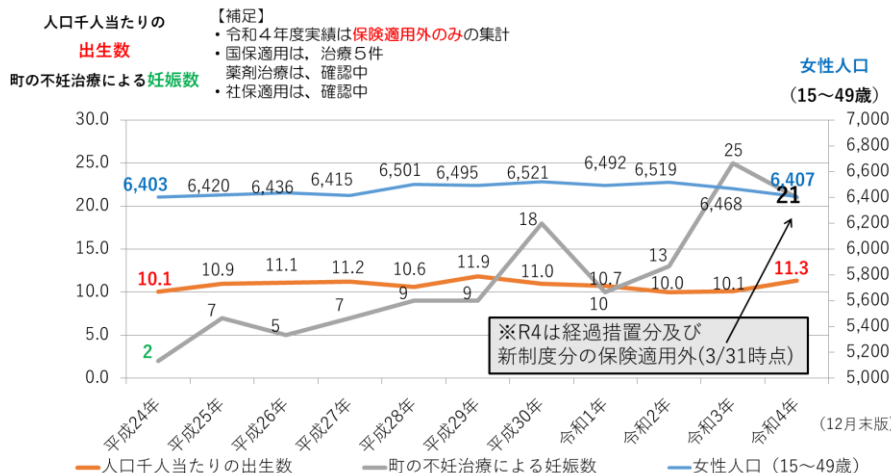
トウオヴィ ハクリネン所長
(フィンランド国立保健福祉研究
所)

Point

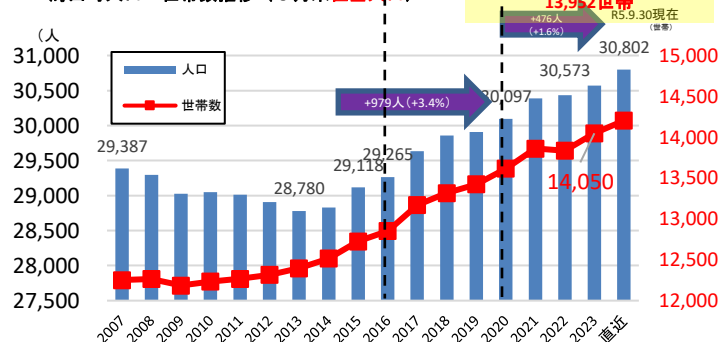
- 出生率，婚姻率ともに県内市町で最も高い
- 合計特殊出生率**1.86**と広島県，全国を上回る
- **2.07**（人口置換水準）を目指す必要あり



女性人口(15～49歳)・出生数・不妊治療による妊娠数

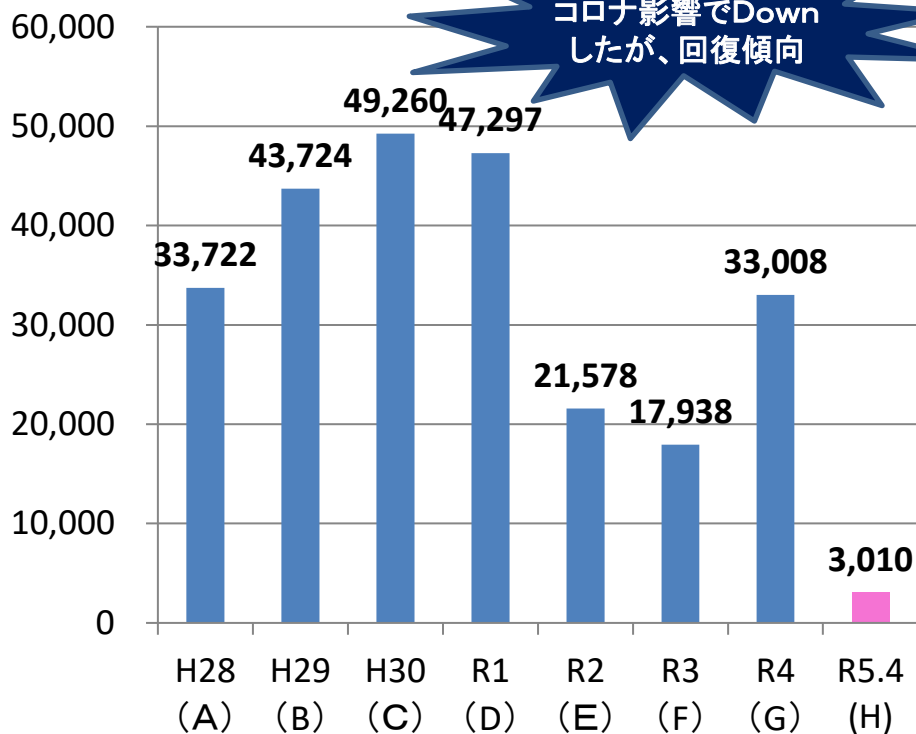


海田町人口・世帯数推移(3月末住基人口)

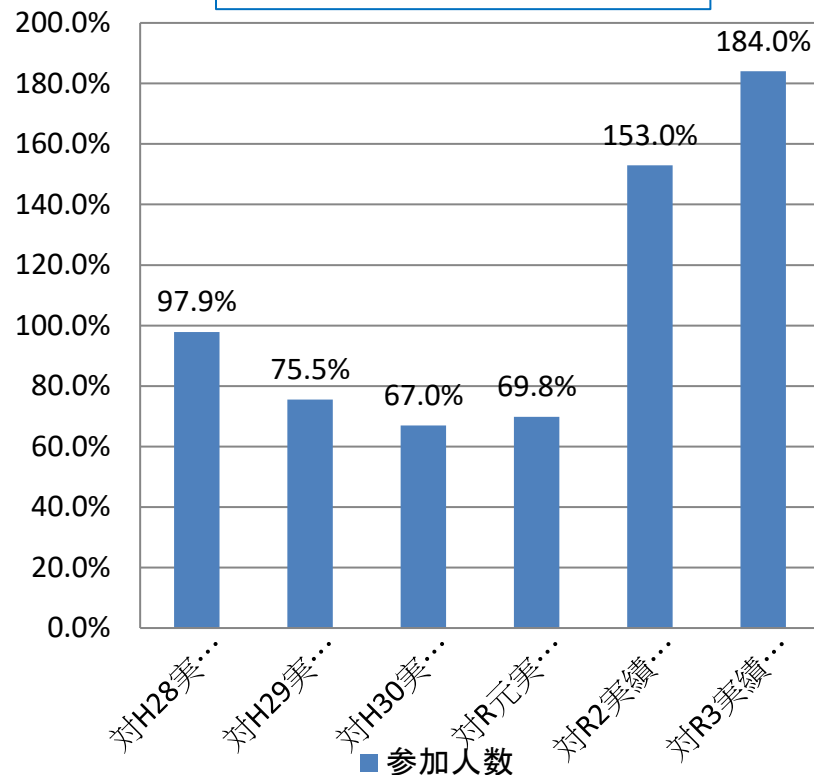


かいた版ネウボラ参加状況

参加人数



令和4年度参加者 各年度対比



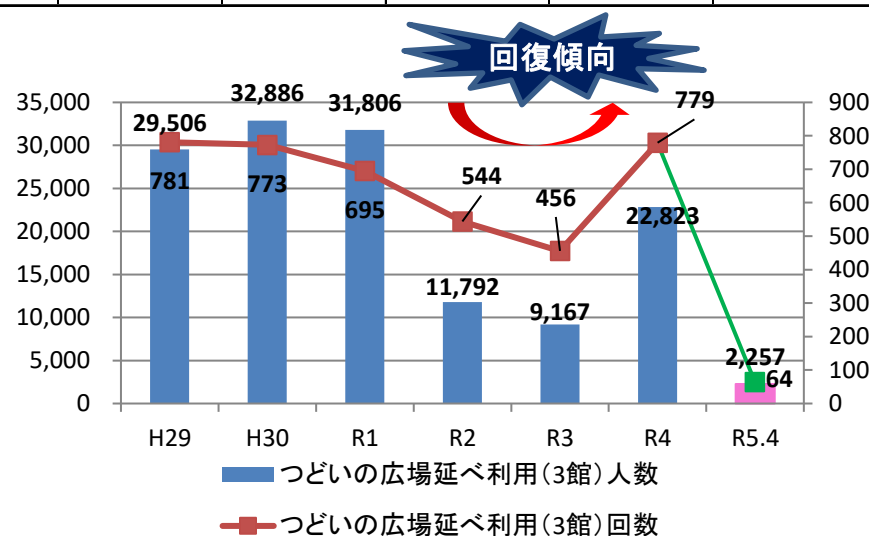
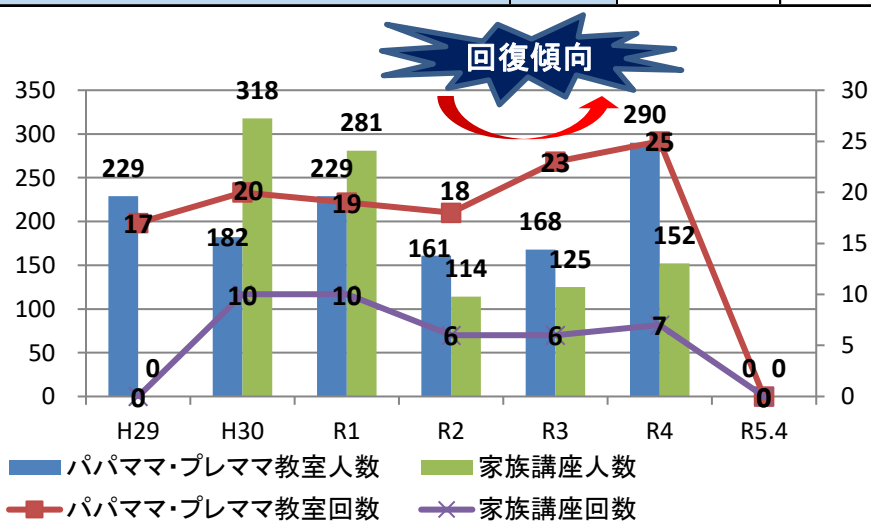
(人) 参加人数

	H28 (A)	H29 (B)	H30 (C)	R1 (D)	R2 (E)	R3 (F)	R4 (G)	R5.4 (H)	対H28実績 (G) / (A)	対H29実績 (G) / (B)	対H30実績 (G) / (C)	対R元実績 (G) / (D)	対R2実績 (G) / (E)
参加人数	33,722	43,724	49,260	47,297	21,578	17,938	33,008	3,010	97.9%	75.5%	67.0%	69.8%	153.0%

かいた版ネウボラ利用状況(第5次総合計画行動指標)

つどいの広場(子育て支援センター3館):海田児童館・町民センター月～金 9時～14時 ひまわりプラザ月～土 10時～16時

		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5.4
パパママ・プレママ教室	人数	229	182	229	161	168	290	0
	回数	17	20	19	18	23	25	0
家族講座	人数	—	318	281	114	125	152	0
	回数	—	10	10	6	6	7	0
つどいの広場延べ利用(3館)	人数	29,506	32,886	31,806	11,792	9,167	22,823	2,257
	回数	781	773	695	544	456	779	64
その他事業参加者数	人数	13,989	15,874	14,981	9,511	8,478	9,743	1,415



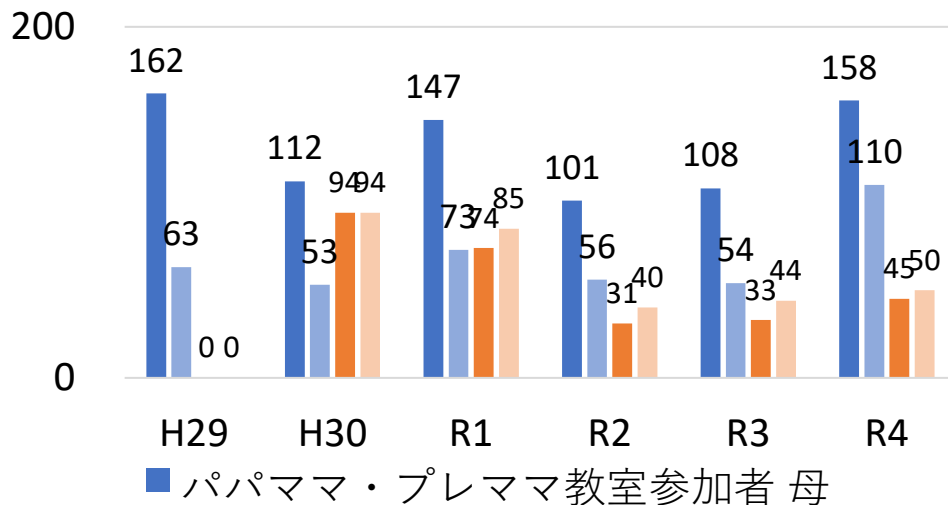


かいた版ネウボラ利用状況（参加人数・属性別内数）

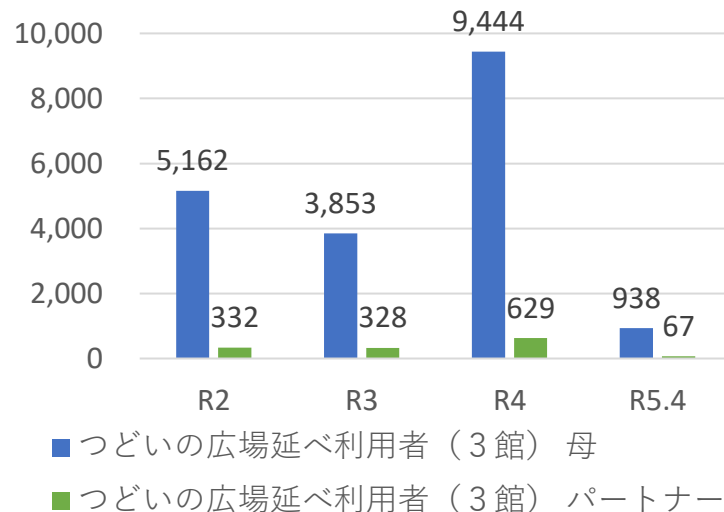
（人）参加人数

		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5.4
パパママ・プレママ教室参加者	母	162	112	147	101	108	158	—
	パートナー	63	53	73	56	54	110	—
家族講座参加者	母	—	94	74	31	33	45	—
	パートナー	—	94	85	40	44	50	—
つどいの広場延べ利用者（3館）	母	—	—	—	5,162	3,853	9,444	938
	パートナー	—	—	—	332	328	629	67

パパママ・プレママ教室・家族講座参加者

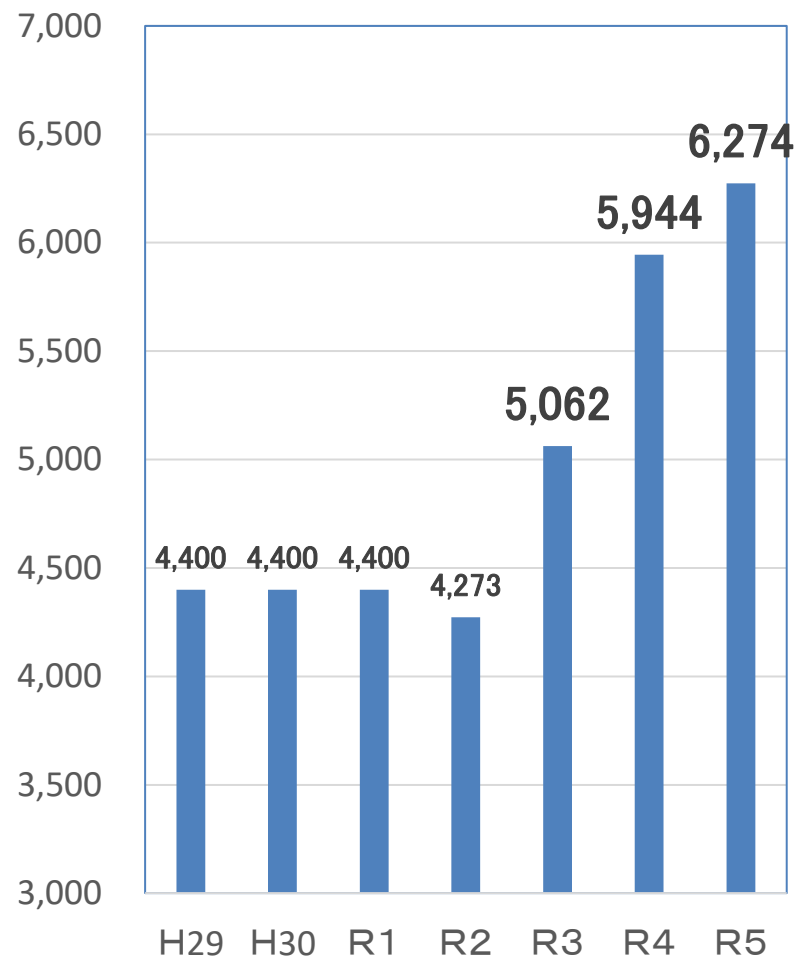


つどいの広場延べ利用者（3館）



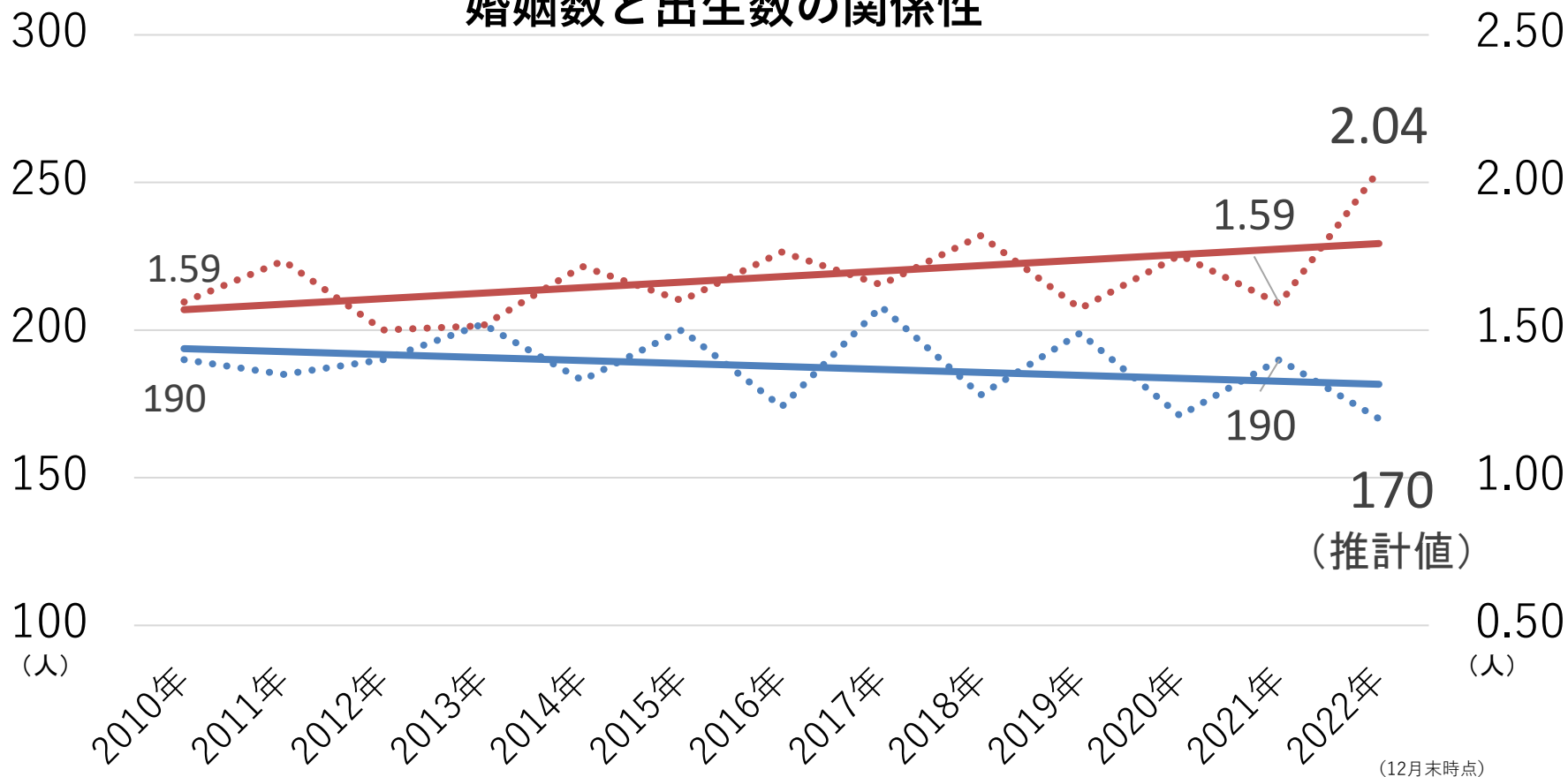
商品	対象	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
4,000円相当の商品選択	11か月児親子教室参加者							
離乳食エプロン	赤ちゃん訪問対象者							
3,000円相当の商品(知育玩具等)	11か月児親子教室参加者							
紙おむつ(回数により知育玩具等配布)	生後3・7・9か月時							
紙おむつ(3回支給)	生後3・7・9か月時							
紙おむつ(3回支給)	生後3・7・9か月時							
お誕生日絵本	11か月児親子教室参加者							

プレゼント単価(1人当たり)
単位:円



紙おむつ支給の際には、保育士や保健師等が発育状況等を確認し、子育て情報の提供や育児相談に応じています。

婚姻数と出生数の関係性



.....婚姻数 (左目盛)

.....出生数/婚姻数 (右目盛)

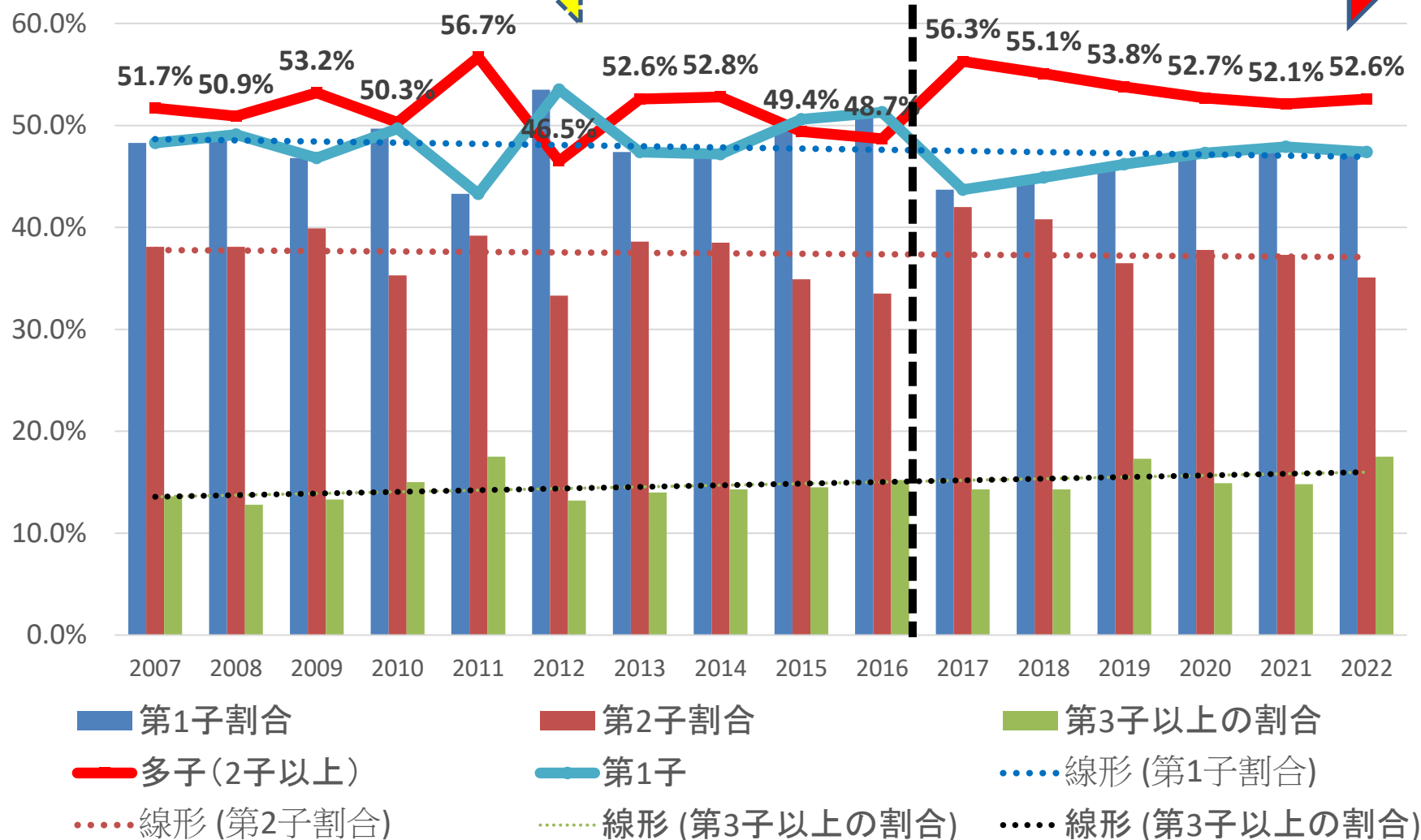
—線形 (婚姻数 (左目盛))

—線形 (出生数/婚姻数 (右目盛))

出生順位と多子割合の推移

ネウボラ導入（前）

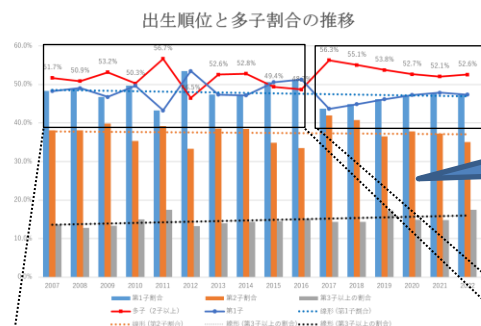
ネウボラ導入（後）



かいた版ネウボラ前後の第1子と多子(第2子以降)の状況

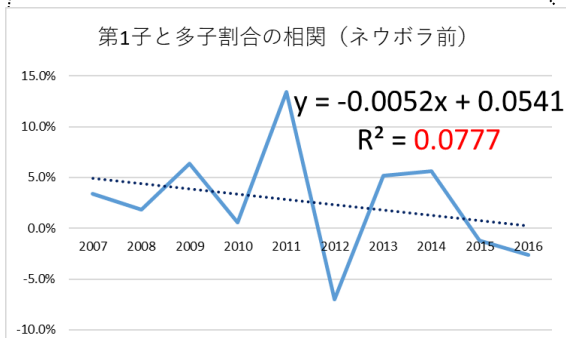
平成29年(2017)かいた版ネウボラの開始以降、多子化の傾向で安定して推移している。

ネウボラ開始の前後で、次のとおり変化がみられる・第1子と多子の相関係数⇒**正の相関**
・人口の自然増減・社会増減の推移(移動平均) ⇒**安定的な自然増・社会増**

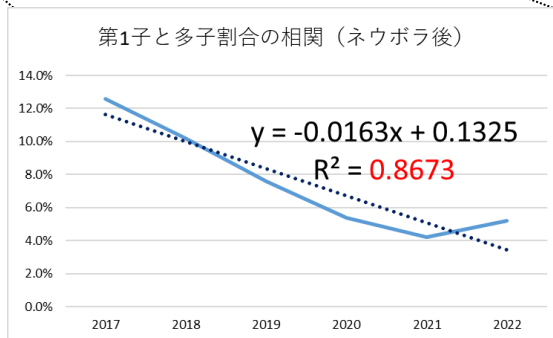


子ども・子育て支援に関するニーズ調査によると、就学前児や小学生がいる家庭においては、大部分の方は「**子育てがしやすいまちだと思う**」

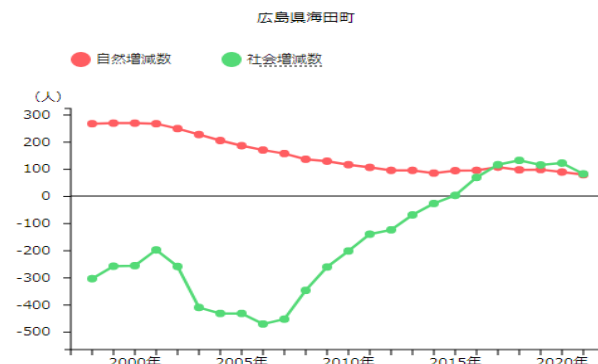
- 就学前児童: **83.7%** n=905
- 小学生: **77.4%** n=1034 と回答している。



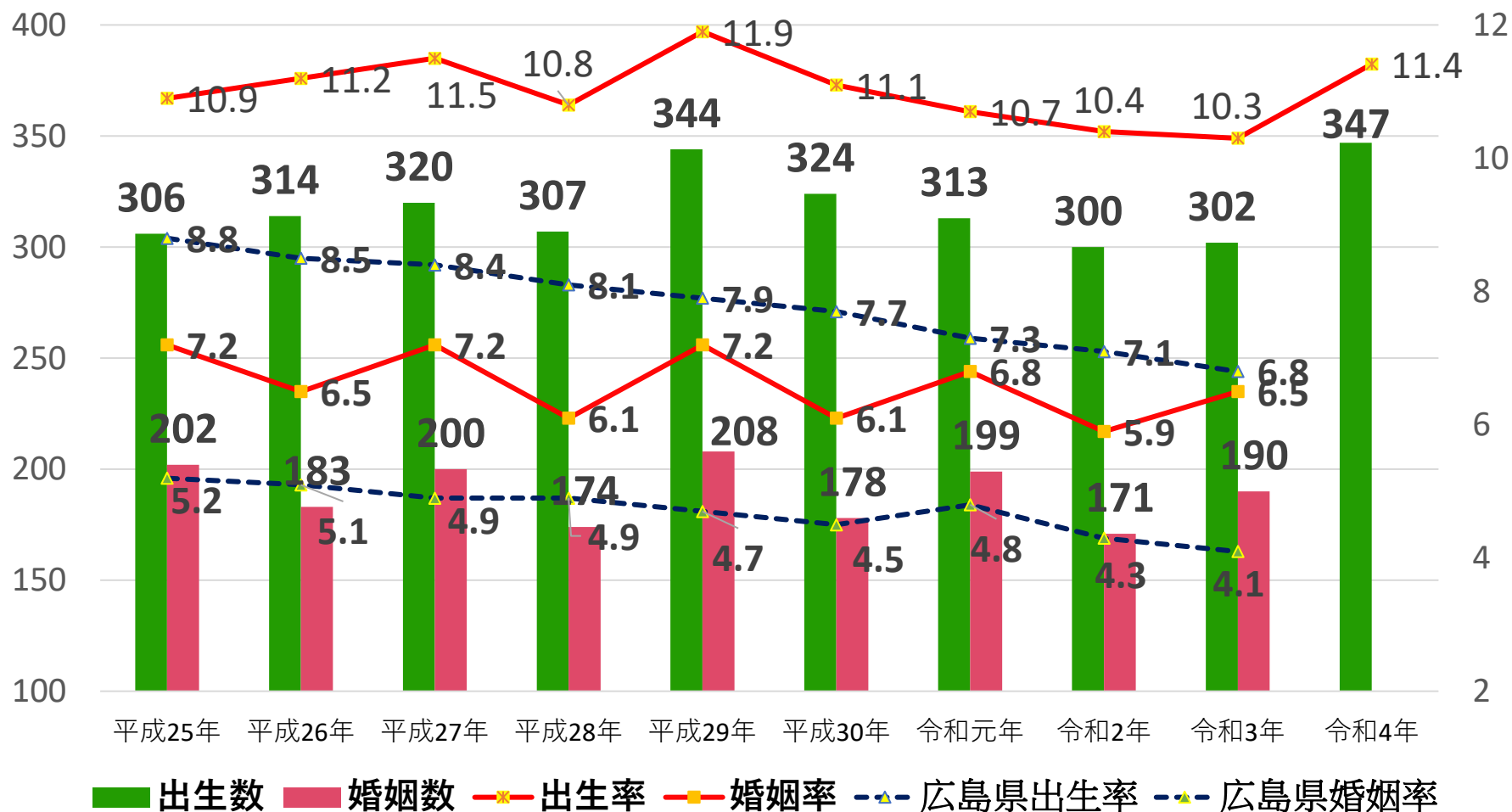
ネウボラ開始(2016年)前第1子と多子の間で**相関性が見られない**。



ネウボラ開始(2017年)後第1子と多子の間で**正の相関がみられる**。



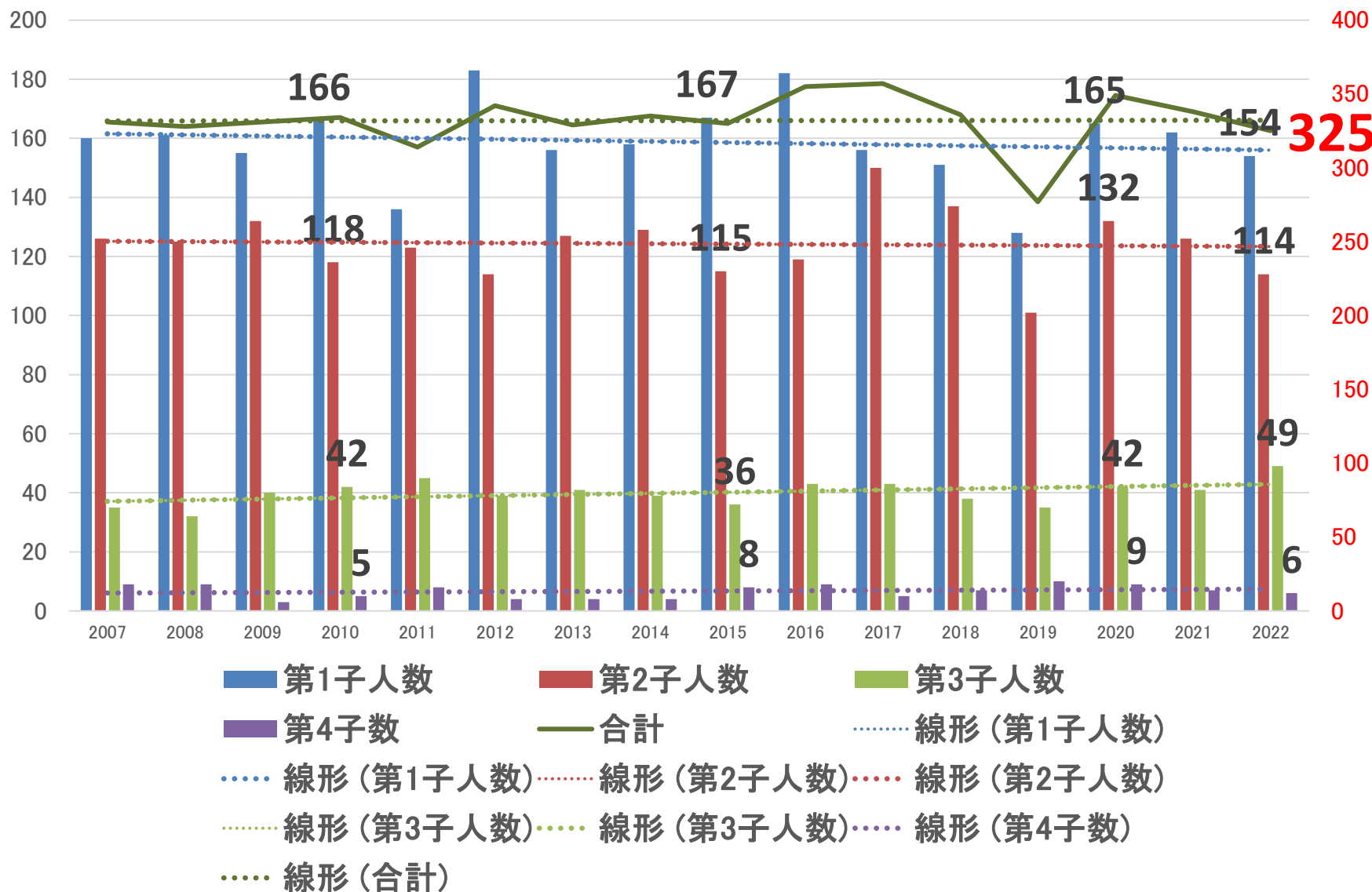
出生数・婚姻数の推移



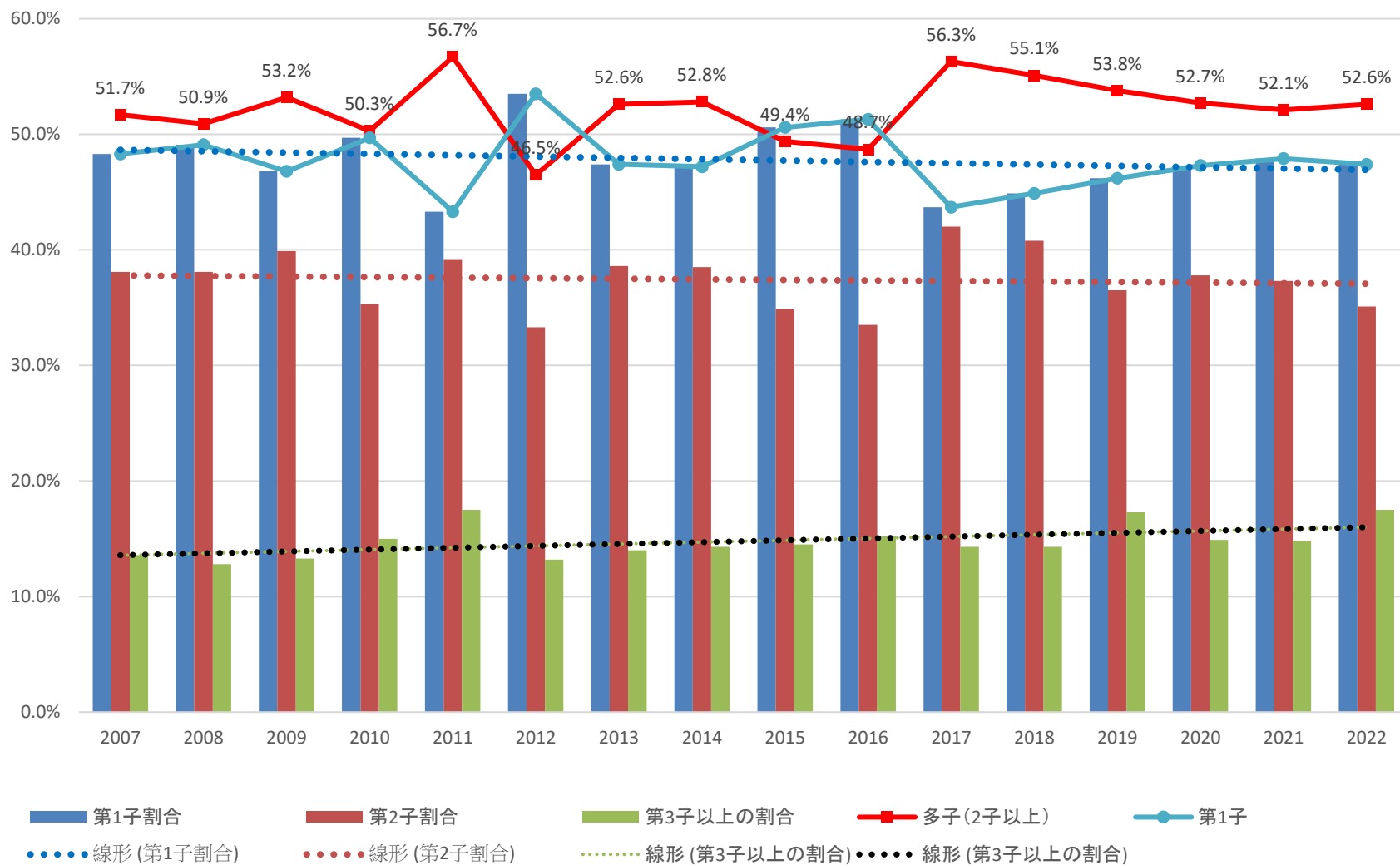
※出生率・婚姻率については、人口千人あたりの数に直したもの。

※令和4年出生数等については、町のデータを基にした推計値

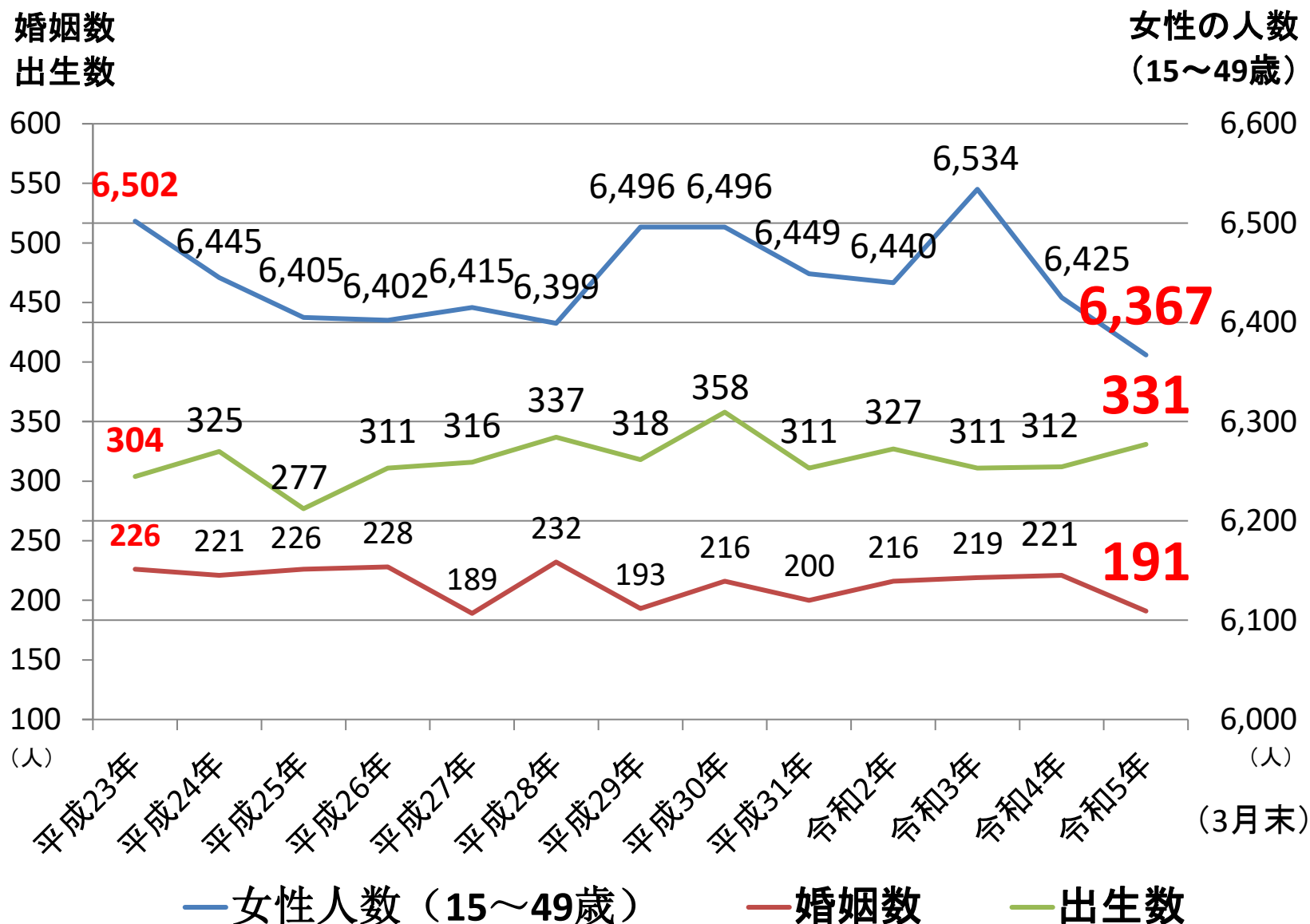
母子健康手帳発行時出生順位



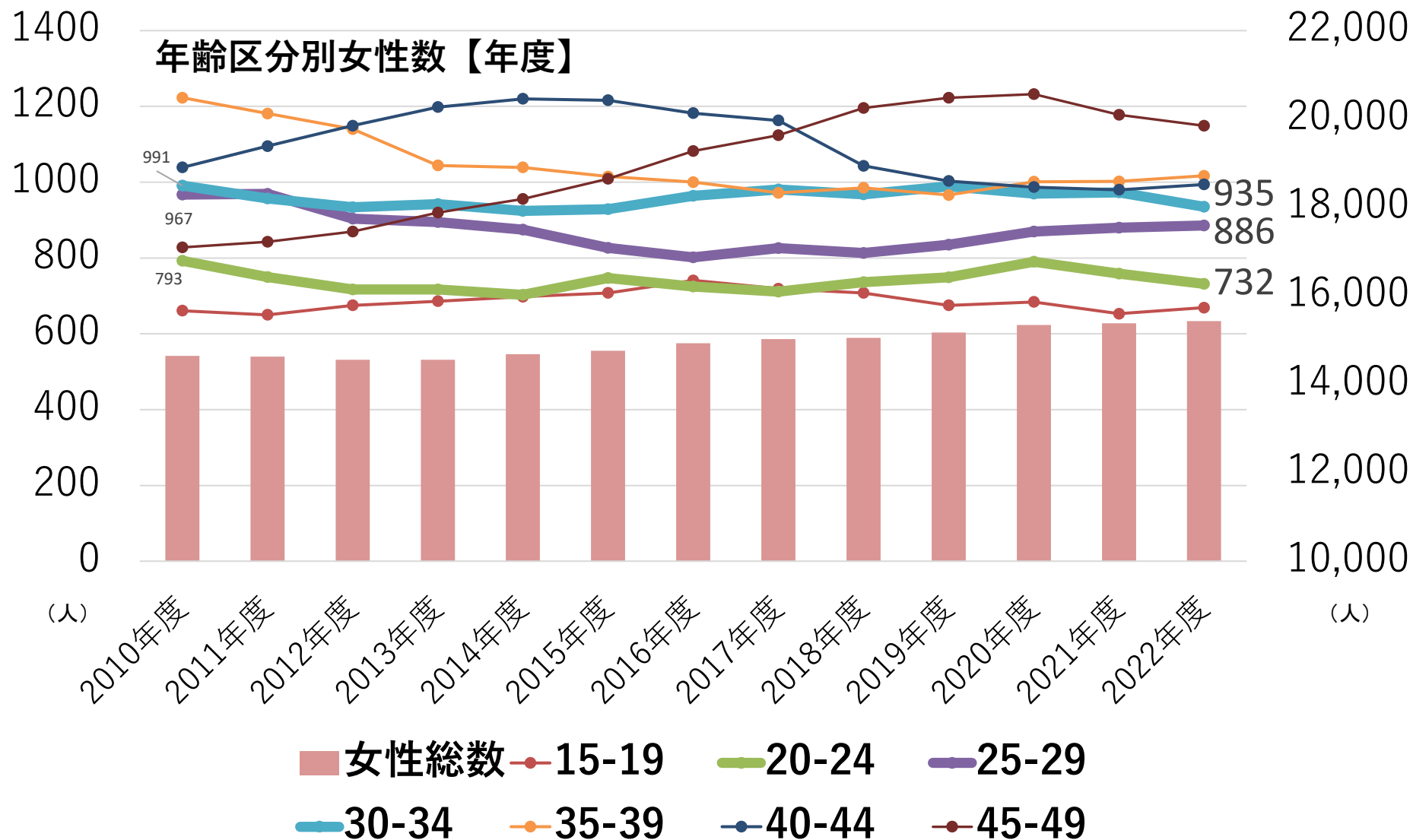
出生順位と多子割合の推移



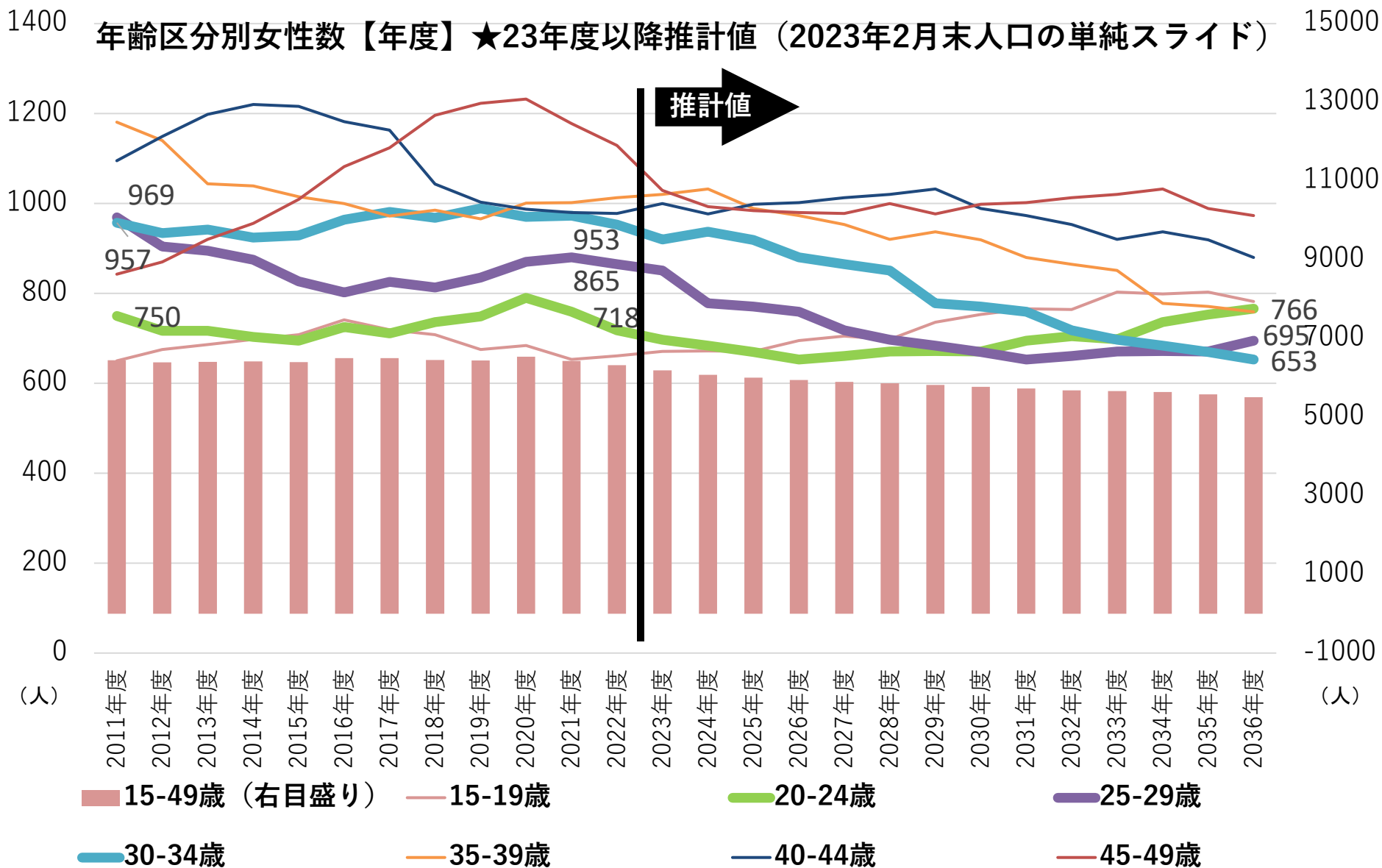
⑤海田町の女性人口(15～49歳)と出生数・婚姻数の状況



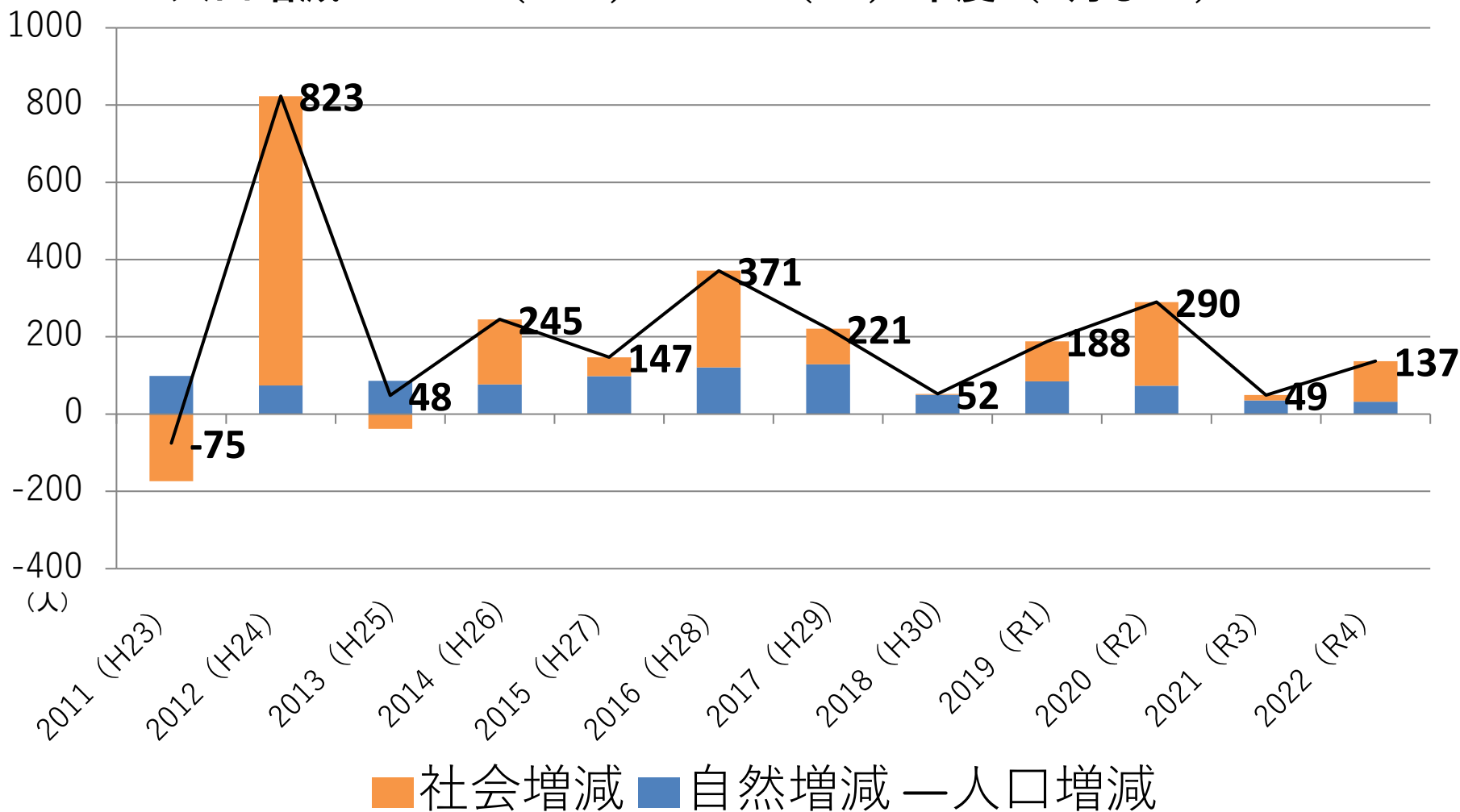
海田町の年齢区分別女性数【年度】の状況



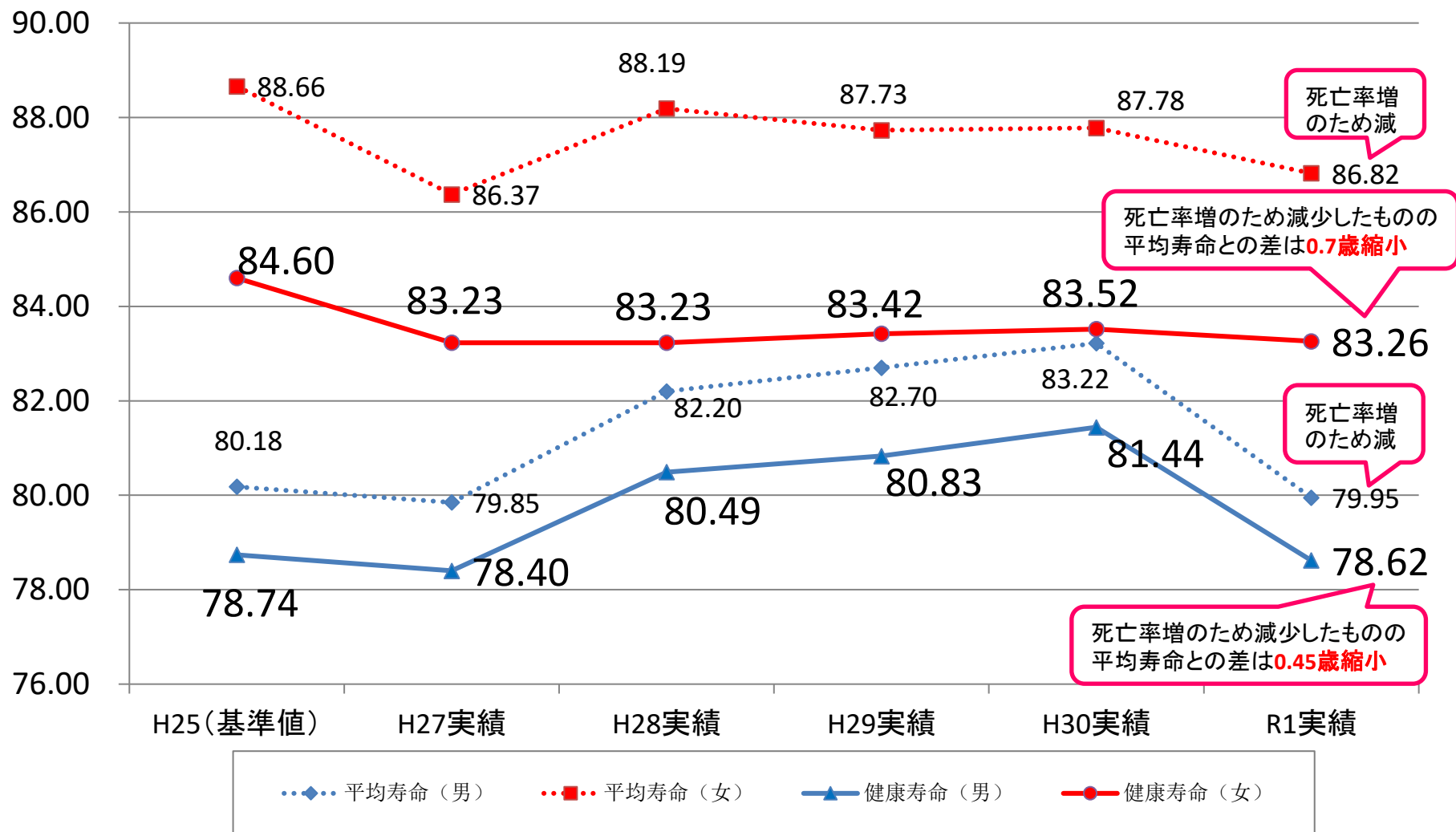
海田町の年齢区分別女性数【年度】の状況



人口増減 2011 (H23) -2022 (R4) 年度 (3月まで)

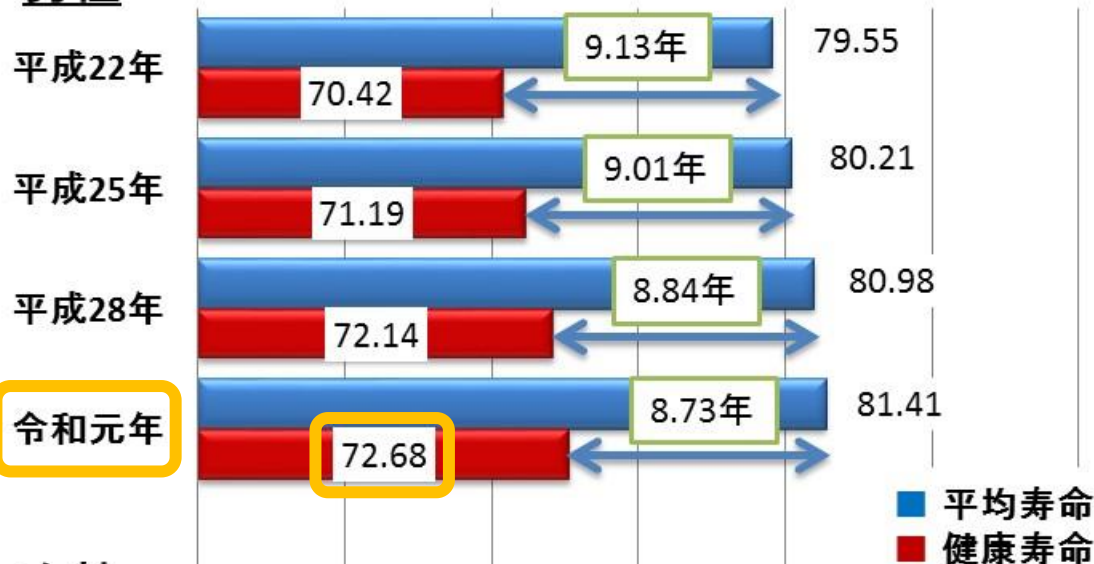


海田町の平均寿命と健康寿命の年度別推移



健康寿命の推移

男性



女性

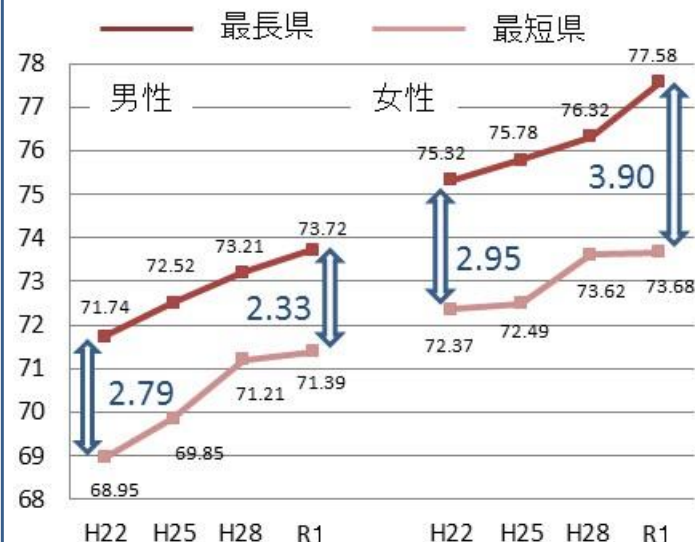


○ 平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加

H22からの増加分	男性	女性
健康寿命	+2.26	+1.76
平均寿命	+1.86	+1.15

○ 都道府県格差※の縮小

※日常生活に制限のない期間の平均の都道府県格差

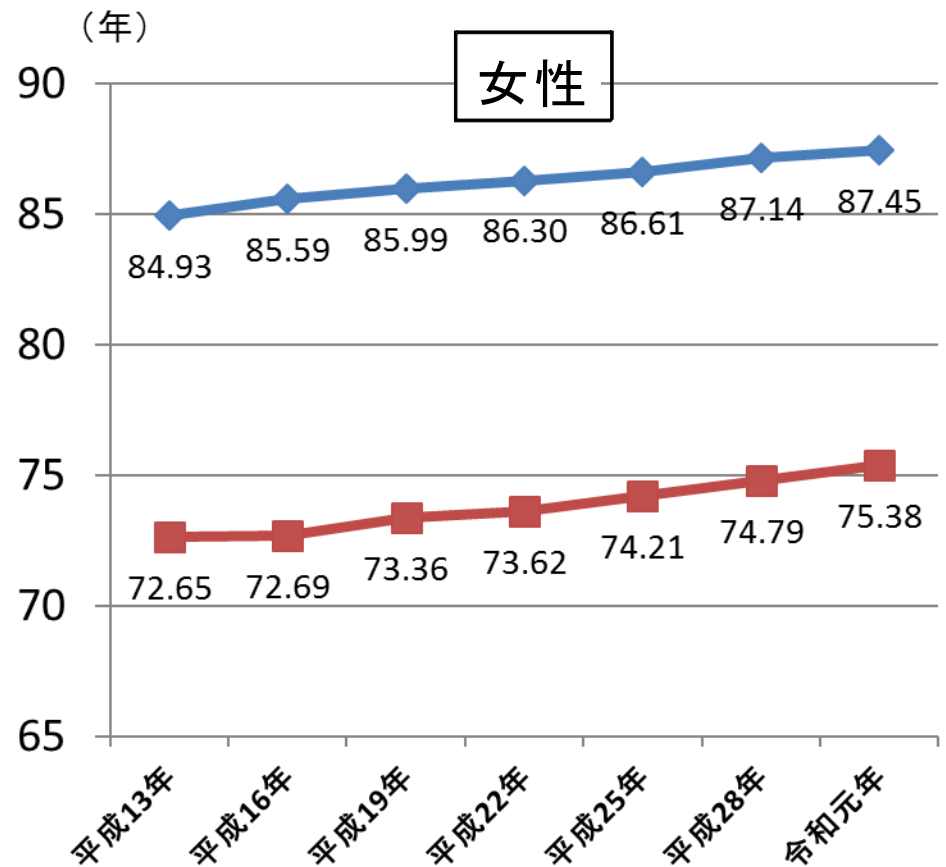
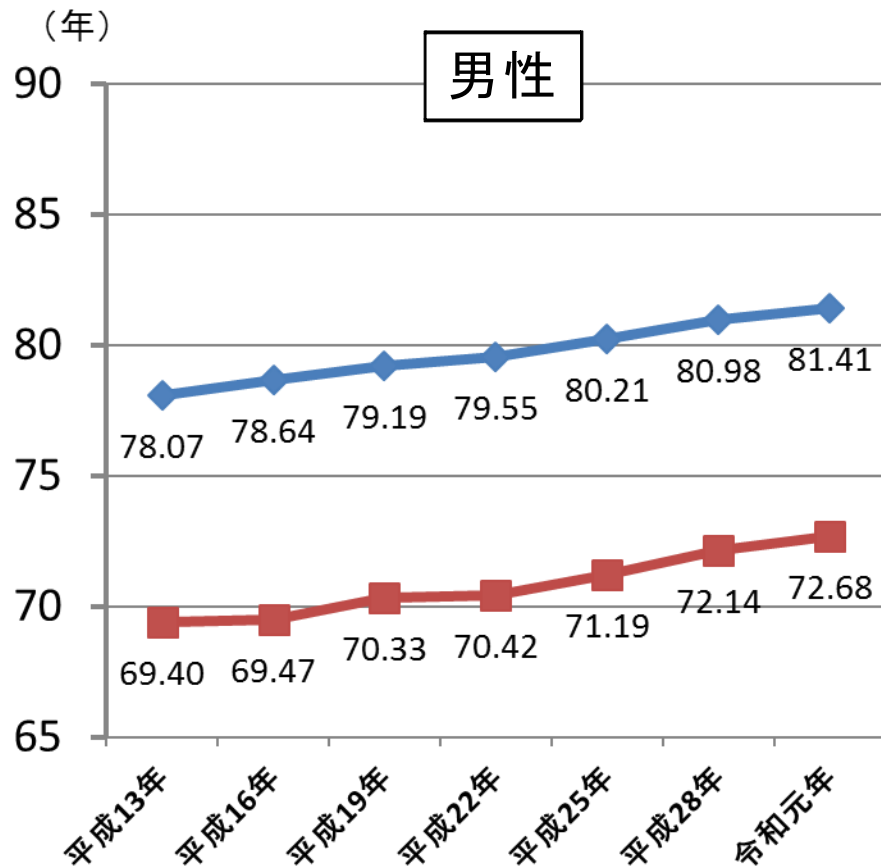


※厚生労働科学研究「健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究」
「健康日本21（第二次）の総合的評価と次期健康づくり運動に向けた研究」（研究代表者 辻一郎）において算出
■健康日本21（第二次）の目標：平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加（令和4年度）
■健康寿命延伸プランの目標：健康寿命を男女ともに3年以上延伸し（2016年比）、75歳以上とする（2040年）

○平均寿命：厚生労働省「平成22年完全生命表」
「平成25年/平成28年/令和元年簡易生命表」
○健康寿命：厚生労働省「平成22年/平成25年/平成28年/令和元年簡易生命表」
厚生労働省「平成22年/平成25年/平成28年/令和元年人口動態統計」
厚生労働省「平成22年/平成25年/平成28年/令和元年国民生活基礎調査」※
総務省「平成22年/平成25年/平成28年/令和元年推計人口」より算出
※平成28年（2016）調査では熊本県は震災の影響で調査なし。

平均寿命と健康寿命の推移

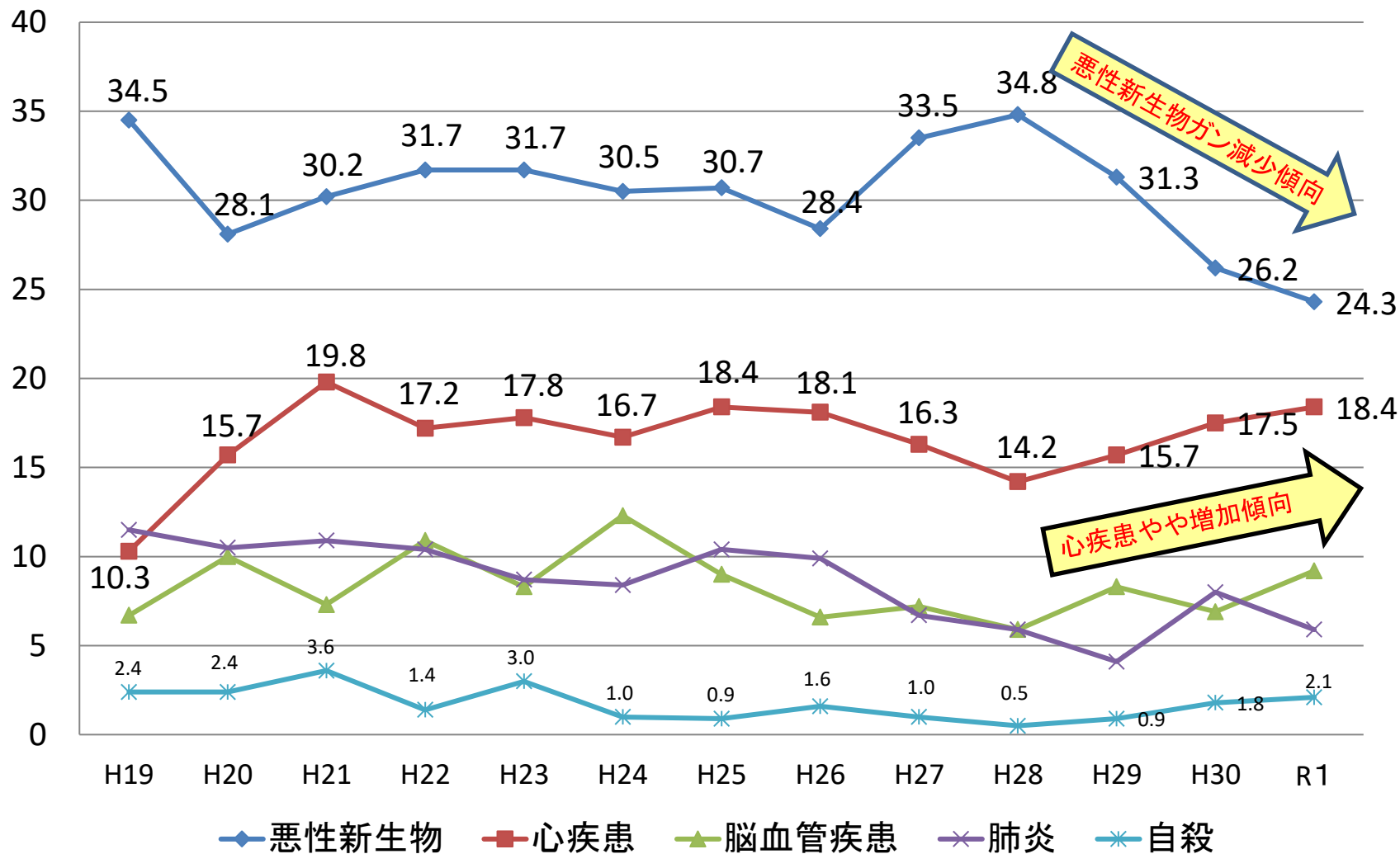
◆ 平均寿命 ■ 健康寿命



【資料】 平均寿命：平成13・16・19・25・28・令和元年は、厚生労働省「簡易生命表」、平成22年は「完全生命表」

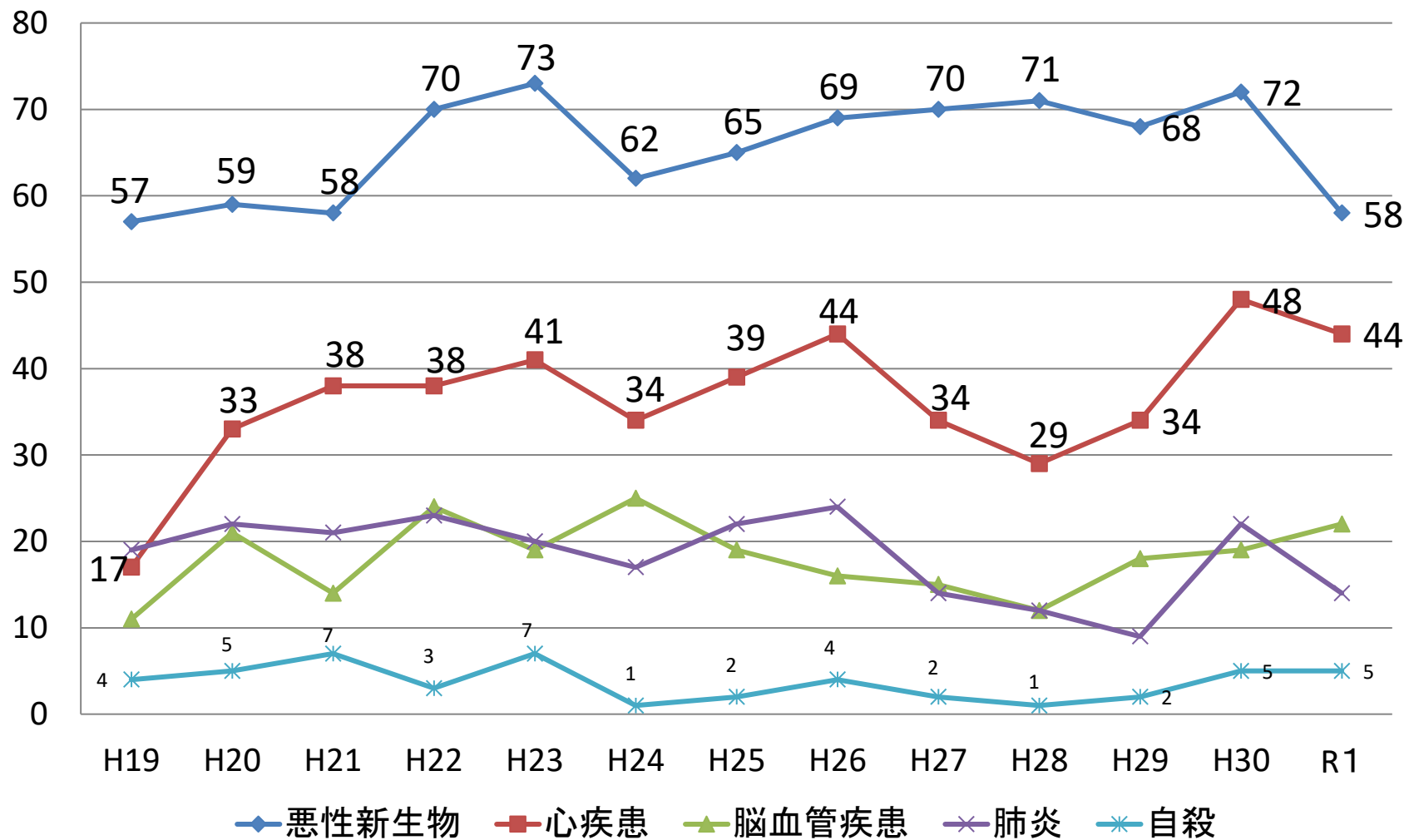
単位：％

海田町の死因内訳〔全体に占める比率〕



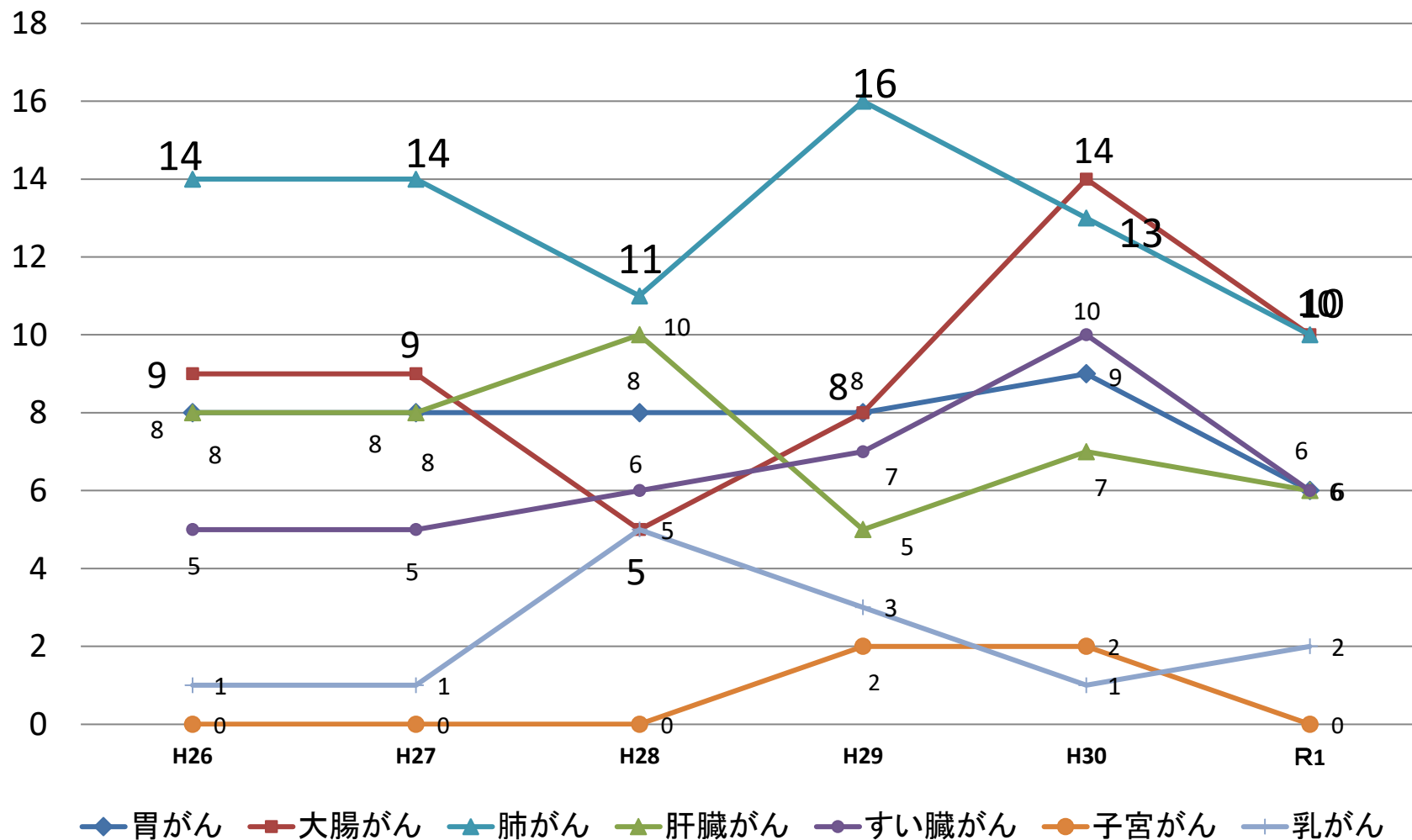
単位：人

海田町の死因内訳〔人数〕



単位:人

がん死因内訳〔人数〕



第3次健康かいた21

元気と病気が調和した自分らしい健康をめざします！

～健康寿命を延ばそう～

健やか親子推進

- ・かいた版ネウボラ事業
- ・妊婦・乳児健康診査
- ・産婦健康診査
- ・妊婦睡眠講座
- ・妊婦歯科健康診査
- ・こんにちは赤ちゃん事業
- ・養育支援家庭訪問事業
- ・すくすく赤ちゃん
- ・ぐんぐん（11か月児親子教室）
- ・1歳6か月児・3歳児健康診査
- ・幼児発達支援事業
- ・未受診者対策事業
- ・子育てパスポート
- ・子育てヘルパー派遣事業
- ・ブックスタート事業
- ・不妊検査・一般不妊治療費助成事業、
不妊治療費助成事業、不育治療費助
成事業
- ・産科医等確保支援事業
- ・親子はみがき教室
- ・ワッショイ！かいた
（子育て応援まつり）

元気増やし

- ・ワッショイ！かいた
（健康食育応援ひろば）
- ・出前健康教室
- ・介護予防事業
- ・健康づくりサポーター養成
- ・水中運動教室
- ・職域健康づくり普及啓発
- ・ウォーキング大会
- ・ひろしまヘルスケアポイント
- ・自主健康づくり自主グループ支援

病気減らし

- ・特定健診・特定保健指導
- ・がん検診推進事業（胃がん、肺がん、
大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前
立腺がん、肝炎ウイルス検診）
- ・生活習慣病予防訪問事業
- ・糖尿病予防教室
- ・糖尿病食の相談室
- ・歯周病検診
- ・口腔がん検診
- ・生活習慣病重症化予防事業
- ・たばこ対策の推進
- ・予防接種事業
- ・救急医療（休日当番医）

食育推進

- ・ブレマ栄養相談
- ・ベビーレストラン（離乳食教室）
- ・すこやか食育教室
- ・朝ごはん推進事業
- ・思春期世代への食育事業
- ・ヘルスメイト活動推進事業
- ・出前健康教室（食育）
- ・ひまわり栄養相談
- ・ワッショイ！かいた
（食育応援ひろば）
- ・350！かいたベジ食べる
プロジェクト

こころの
健康づくり推進

- ・こころの相談室
（精神保健福祉相談）
- ・出前健康教室（睡眠改善講座）
- ・人材育成
- ・精神障害者家族会
- ・海田町精神障害者通院医療費支
給制度

第3次健康かいた21

元氣と病氣が調和した自分らしい健康をめざします！

～健康寿命を延ばそう～

健やか親子推進

- ・かいた版ネウボラ事業
- ・妊婦・乳児健康診査
- ・産婦健康診査
- ・妊婦睡眠講座
- ・妊婦歯科健康診査
- ・こんにちは赤ちゃん事業
- ・養育支援家庭訪問事業
- ・すくすく赤ちゃん
- ・ぐんぐん(11か月児親子教室)
- ・1歳6か月児・3歳児健康診査
- ・幼児発達支援事業
- ・未受診者対策事業
- ・子育てパスポート
- ・子育てヘルパー派遣事業
- ・ブックスタート事業
- ・不妊検査・一般不妊治療費助成事業、
不妊治療費助成事業、不育治療費助
成事業
- ・産科医等確保支援事業
- ・親子はみがき教室
- ・ワッショイ！かいた
(子育て応援まつり)

元氣増やし

- ・ワッショイ！かいた
(健康食育応援ひろば)
- ・出前健康教室
- ・介護予防事業
- ・健康づくりサポーター養成
- ・水中運動教室
- ・職域健康づくり普及啓発
- ・ウォーキング大会
- ・ひろしまヘルスケアポイント
- ・健康づくり自主グループ支援

病氣減らし

- ・特定健診・特定保健指導
- ・がん検診推進事業(胃がん肺がん、
大腸がん子宮頸がん乳がん前立
腺がん肝炎ウイルス検診)
- ・生活習慣病予防訪問事業
- ・糖尿病予防教室
- ・糖尿病食の相談室
- ・歯周病検診
- ・口腔がん検診
- ・生活習慣病重症化予防事業
- ・たばこ対策の推進
- ・予防接種事業
- ・救急医療(休日当番医)

食育推進

- ・ブレママ栄養相談
- ・ベビーレストラン
- ・すこやか食育教室
- ・朝ごはん推進事業
- ・思春期世代への食育事業
- ・ヘルスメイト活動推進事業
- ・出前健康教室(食育)
- ・ひまわり栄養相談
- ・350！かいたベジ食べる
プロジェクト
- ・ワッショイ！かいた
(食育応援ひろば)
- ・朝ごはん推進事業

こころの
健康づくり推進

- ・こころの相談室
(精神保健福祉相談)
- ・出前健康教室(睡眠改善講座)
- ・人材育成
- ・精神障害者家族会
- ・海田町精神障害者通院
医療費支給制度





	2018年 (平成30年)		2022年 (令和4年)
総人口	29,988人	573人増	30,561人
若者 〈20歳未満人口〉	5,910人	23人増	5,933人
年少人口 〈15歳未満人口〉	4,417人	133人増	4,550人
働き手 〈生産年齢人口 ＝15～64歳〉	18,488人	295人増	18,783人

両年とも9月末時点



項目			H29	H30	R1	R2	R3	R4
産前イベント	プレママ教室	母乳育児・産後の赤ちゃんとの生活・骨盤体操等						
	パパママ教室	沐浴体験・出産の経過とパパの役割等 ※H30～2講座に拡充						
	マタニティサロン（妊婦体操）	産前・産後に関わる体操教室						
	マタニティサロン（母乳育児）	母乳育児から卒乳までの講座（3回シリーズ）						
	マタニティランチ	妊娠中の食事の話と調理・ランチ会						
産後イベント	ひよこ相談室	身体計測と保健師等との育児相談 ※R2～子育て支援センター3館で実施						
	ベビィケアあそび	赤ちゃんの発達を促すふれあいあそび ※R4～骨盤ケア・べびィケアから独立						
	ママ教室（卒乳にむけて）	母乳育児の終わりについてのお話 ※R4～マタニティサロン（母乳育児）から独立						
	ベビーマッサージ （産後ママのための休憩室）	赤ちゃんとの肌のふれあい、語りかけ						
	骨盤ケア・べびィケア （産後ママのための休憩室）	ママの骨盤ケアと赤ちゃんの発達段階に応じた姿勢について						
	滞在型（産後ママのための休憩室）	ひまわりプラザで沐浴練習や育児相談をしながらゆっくり滞在						
	助産師の相談室	助産師との個別相談						